

新中央図書館整備基本計画

平成31年3月

ひたちなか市

目次

はじめに.....	1
第1章 計画策定にあたって.....	2
1-1 中央図書館の概要.....	2
1-2 中央図書館整備調査（平成29年度）における検討結果.....	5
(1) 新中央図書館の整備理念とサービス方針.....	5
(2) 新中央図書館の規模.....	7
第2章 市民ニーズの調査結果.....	8
2-1 アンケート調査.....	8
(1) 市民アンケート調査.....	8
(2) 高校生等アンケート調査.....	19
2-2 聞き取り調査.....	25
(1) 調査概要.....	25
(2) 調査結果.....	26
2-3 市民ワークショップ.....	33
(1) 実施概要.....	33
(2) 実施結果.....	34
第3章 新中央図書館のサービス計画.....	38
3-1 まなび：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援.....	38
(1) 中央館として相応しい質・量の資料の提供.....	38
(2) すべての利用者にとって快適な読書・学習環境の提供.....	39
(3) ICTの活用による利便性の向上.....	41
3-2 みのもり：日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ.....	42
(1) 充実したレファレンスサービスの提供.....	42
(2) ライフステージや年代に応じたサービスの展開.....	43
3-3 あそび：知的好奇心を刺激し、子どものアソビをマナビに.....	44
(1) 関連機関と連携した読書活動の支援.....	44
(2) 就学期以降の子どもの本や読書との触れ合いの支援.....	45
(3) 中高生の利用や学習の支援.....	46

3-4 未来へ：地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献	47
(1) ひたちなか市らしい資料・情報の提供	47
(2) 暮らしやすいまち，豊かな暮らしの実現の支援	48
(3) 市民の居場所づくりと交流・賑わいの創出	49
第4章 新中央図書館の施設計画	50
4-1 必要諸室と整備方針	50
(1) 想定するサービスと必要諸室	50
(2) 諸室の整備方針	52
4-2 施設の規模	55
第5章 新中央図書館の管理運営方針	57
5-1 開館日・開館時間	57
5-2 管理運営手法	59
第6章 新中央図書館の整備候補地	63
6-1 想定する整備候補地	63
6-2 整備候補地の概要	64
6-3 整備候補地における整備イメージ	65
6-4 整備候補地の比較検討状況	73
(1) 整備候補地の調査結果	73
(2) 比較検討のまとめ	73

はじめに

本市の図書館サービスは、中央図書館、那珂湊図書館、佐野図書館、津田分室の3館1分室体制で提供しています。その中心的役割を担う中央図書館は昭和49年5月に開館しており、近年では老朽化・狭あい化が進行し、より一層多様化・高度化する市民のニーズに応えることが難しくなっています。

そこで、本市では平成28年7月に新中央図書館整備検討委員会を設置し、市民意向等を踏まえつつ中央図書館の建替えを総合的に調査、研究及び検討してきました。平成29年度は「中央図書館整備調査報告書」（以下、「調査報告書」とします。）をとりまとめ、現状の課題等を踏まえて本市の目指すべき新中央図書館のあり方や規模などを整理しました。平成30年度は、アンケート調査や市民ワークショップなどを実施し、これらから把握した市民ニーズやこれまでの検討・調査結果等を踏まえ、新中央図書館の整備理念や整備方針に基づき提供するサービス内容などについて検討してきました。この「新中央図書館整備基本計画」（以下、「本計画」とします。）は、これらの調査、研究及び検討を踏まえ、新中央図書館におけるサービスや施設のあり方をさらに具体化するために策定するものです。

1-1 中央図書館の概要

中央図書館は、勝田駅から徒歩約5分の距離に位置しています。周辺は中心市街地で、市営元町駐車場や東石川小学校、東石川幼稚園に隣接していることもあり、子どもや高齢者、学生、ビジネスパーソンなどを含む幅広い市民に利用されています。また、本市の図書館サービスの中核として市内全域へサービスを展開するほか、那珂湊図書館及び佐野図書館、津田分室の2館1分室への連絡調整機能も担っています。

中央図書館の概要を表1-1、各館の概要及び利用状況を表1-2、中央図書館内の配置を図1-1に示します。現在の中央図書館では、貸出・返却目的の利用が中心ですが、那珂湊図書館や佐野図書館と比較するとレファレンスサービス（利用者からの求めに応じて調査研究に必要な資料や情報を提供するサービス）の利用も多くなっています。また、児童の利用が増加傾向にある一方で、中高生などの若年層の利用が少なくなっています。

表 1-1 中央図書館の概要

項目	内 容
1 開館年月日	昭和49年5月19日
2 所在地	元町5番3号
3 延床面積	1,868.14㎡
4 開館時間	9:00～19:00（※土・日・祝日は～17:00）
5 休館日	月曜日（祝日のときは翌平日）・図書整理日（第4木曜日）・5月の国民の祝日・年末年始（12月29日～1月3日）・特別整理期間（年1回10日以内）
6 利用登録条件	市内在住・市内通勤・市内通学者 広域利用対象8市町村（水戸市、笠間市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村）在住者
7 個人貸出	図書・雑誌 10点15日以内 紙芝居 5点15日以内 ビデオ・CD・DVD等 5点8日以内（内DVDは2点以内）
8 予約・リクエスト	5点以内 ※雑誌の最新号、ビデオ・CD・DVD等の視聴覚資料は予約不可
9 団体貸出	団体貸出用図書 50点2カ月以内（5人以上の団体が対象） 読み聞かせ資料、視聴覚機材などの貸出
10 自宅配本	市内在住の身体障害者手帳所持者（1級～3級）に資料の宅配を実施 1回10点30日以内

※リクエスト：未所蔵資料への予約に対して取り寄せや相互貸借、購入により対応するサービス

表 1-2 各館の概要（平成 29 年度）

項目	中央図書館		那珂湊図書館	佐野図書館	合計	
	中央図書館	津田分室				
1 開館年月日	昭和49年 5月19日	昭和63年 4月1日	昭和53年 5月8日	平成11年 10月2日	-	
2 所在地	元町 5番3号	津田 2732番地	鍛冶屋窪 3566番地	高場 1362番地1	-	
3 延床面積（㎡）	1,868.14	32.40	890.75	1,488.34	4,279.63	
4 職員数（人）	合計	22	2	10	11	45
	専任	10	-	6	5	21
	非常勤	12	2	4	6	24
5 開館日数（日）	292	277	293	293	-	
6 入館者数（人）	合計	278,855	2,638	68,883	119,864	470,240
	一般	174,799	-	-	-	-
	児童	104,056	-	-	-	-
7 蔵書冊数（冊）	合計	244,701		97,531	142,538	484,770
	（うち開架冊数）	(144,845)		(87,391)	(93,687)	(325,923)
	一般書	151,411		70,967	100,292	322,670
	児童書	86,583		23,290	37,243	147,116
	紙芝居	2,072		1,205	1,120	4,397
	視聴覚資料	4,635		2,069	3,883	10,587
8 貸出者数 - 個人 （人）	合計	89,639	1,860	23,574	51,252	166,325
	一般	66,101	1,490	18,042	38,368	124,001
	児童	23,538	370	5,532	12,884	42,324
9 貸出冊数 - 個人 （冊）	合計	413,174	5,984	108,478	257,687	785,323
	一般書	172,353	2,633	51,687	112,788	339,461
	児童書	211,946	3,104	50,558	131,691	397,299
	雑誌	10,582	199	3,069	7,199	21,049
	紙芝居	4,071	48	1,363	3,437	8,919
	視聴覚資料	14,222	-	1,801	2,572	18,595
10 貸出団体数（団体）	558	-	-	-	558	
11 貸出冊数 - 団体 （冊）	合計	1,934	-	-	-	1,934
	一般書	271	-	-	-	271
	児童書	1,663	-	-	-	1,663
12 リクエスト件数（件）	6,838	924	2,403	4,731	14,896	
13 相互貸借（件）	貸出	653	-	324	403	1,380
	借受	753	-	51	327	1,131
14 レファレンス件数（件）	4,681	78	442	1,618	6,819	

資料：『平成 30 年度図書館要覧』（※開架冊数は『平成 29 年度茨城の図書館』）

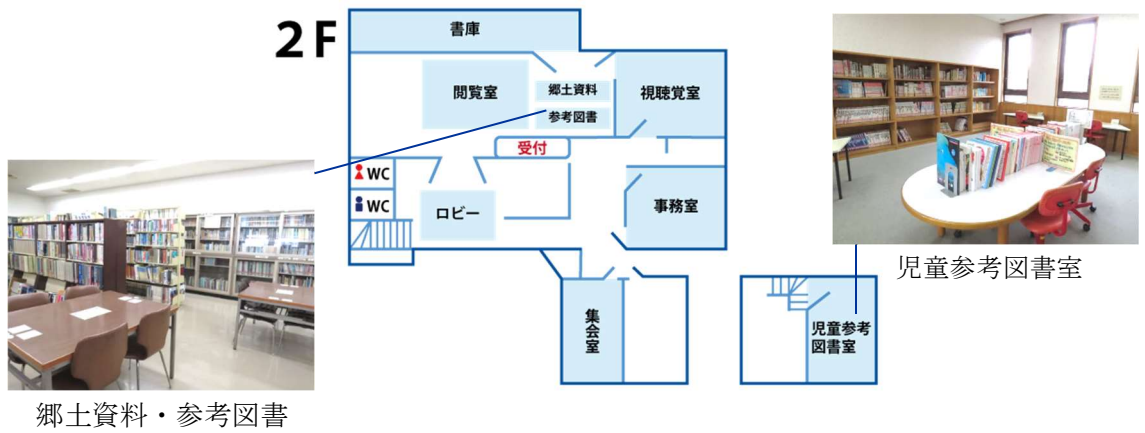
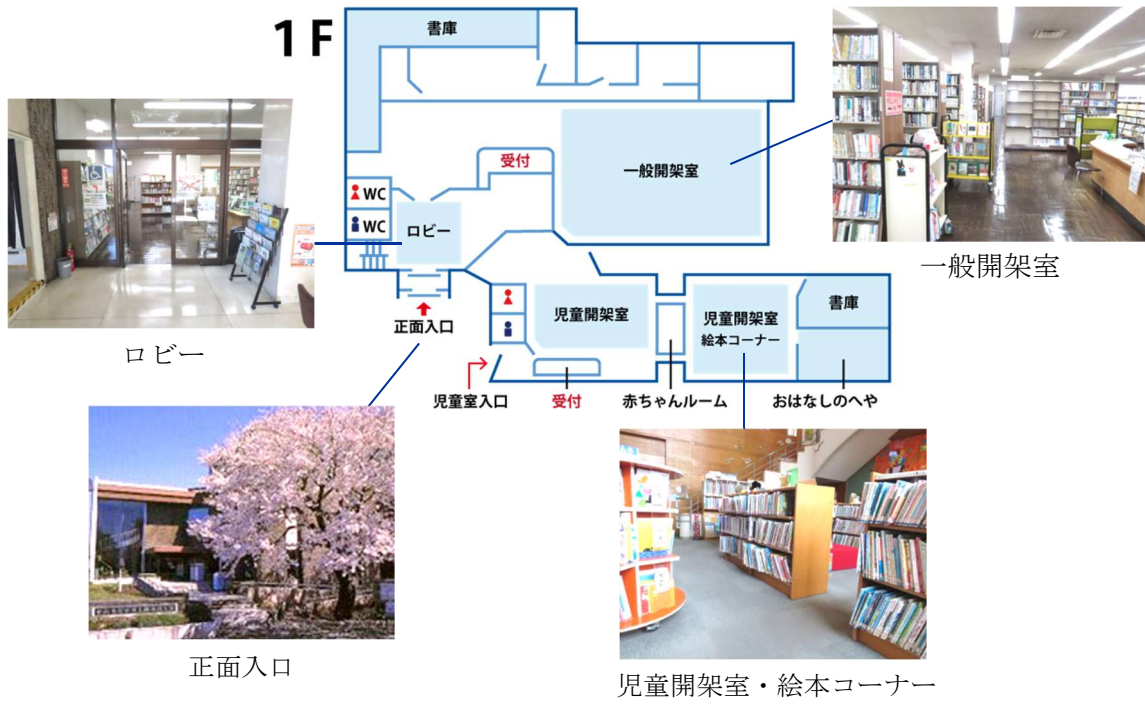


図 1-1 中央図書館館内図

1-2 中央図書館整備調査（平成 29 年度）における検討結果

（1）新中央図書館の整備理念とサービス方針

現在の中央図書館は開館以来多くの市民に利用されてきましたが、施設の老朽化や収蔵能力の不足、エレベーターの未整備、利用の減少傾向といった問題も抱えています。また、近年の急激な社会情勢の変化の中で、公立図書館は、まちづくりや地域の活性化に資する役割なども重視されるようになってきています。

そこで、「調査報告書」では、新中央図書館の整備理念を「まなび・みのり・あそびでまちの未来を拓く図書館」とし、市民一人ひとりの知的好奇心や学習意欲に応えるための機能の充実を図るとともに、産業振興、子育て支援、定住促進、コミュニティ再生といったまちの課題の解決に貢献し、次世代のまちづくりへとつなげていくことを目指すものとししました。

さらに、整備理念の実現を図るために4つの整備方針を設定し（図 1-2 参照）、その内容を展開するサービスへと反映するためのサービス方針も併せて設定しました（表 1-3 参照）。

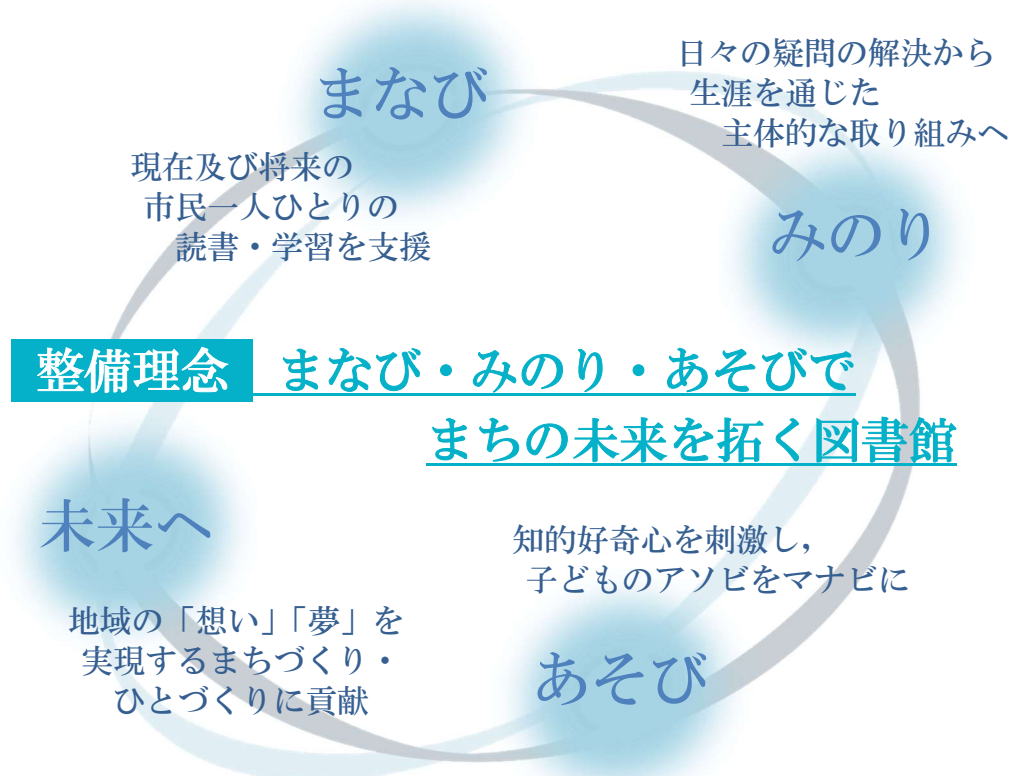


図 1-2 新中央図書館の整備理念と整備方針

表 1-3 新中央図書館の整備方針とサービス方針

整備方針	サービス方針
<p>(1) まなび：</p> <p>現在及び将来の 市民一人ひとりの 読書・学習を支援</p>	<p>①中央館として相応しい質・量の資料の提供</p> <p>②赤ちゃんから高齢者まですべての市民にとって快適な読書環境の提供</p> <p>③ I C タグシステムや I C T 技術の導入による利用者利便性の向上</p>
<p>(2) みどり：</p> <p>日々の疑問の解決から 生涯を通じた 主体的な取り組みへ</p>	<p>①レファレンスサービスの充実</p> <p>②ライフステージや年代に応じたサービスの展開</p> <p>③適切な開館時間・開館日数の検討</p>
<p>(3) あそび：</p> <p>知的好奇心を刺激し、 子どものアソビをマナビに</p>	<p>①「ふぁみりこらぼ」など関連機関と連携した効果的なサービス展開</p> <p>②就学期以降の子どもの本や読書への触れ合いの支援</p> <p>③中高生の利用促進につながるサービスの充実</p>
<p>(4) 未来へ：</p> <p>地域の「想い」「夢」を実現する まちづくり・ひとづくりに貢献</p>	<p>①ひたちなか市らしい資料・情報の発信</p> <p>②暮らしやすいまち、豊かな暮らしの実現に資するサービスの提供</p> <p>③市民の居場所や賑わい・交流の場の創出</p>

(2) 新中央図書館の規模

「調査報告書」では、新中央図書館の蔵書規模を「図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き〔平成24年文部科学省告示第172号〕」及び他自治体中央館整備水準等を踏まえて表1-4のとおり設定しました。

また、施設規模については、開架スペースのゆとりに幅を持たせるものとし、蔵書規模を踏まえて約4,800㎡と約5,500㎡の2パターンとなり、必要駐車台数は110台程度としました。なお、施設規模は提供するサービスや必要諸室を踏まえて設定する必要があることから、本計画の「第3章 新中央図書館のサービス計画」に基づき精査・再検討するものとします。

表 1-4 新中央図書館の蔵書規模

項目	規模
収蔵冊数	約50万冊
開架・閉架比率	開架 約50% : 閉架 約50%
一般書・児童書比率	一般書 約65% : 児童書 約35%

2-1 アンケート調査

(1) 市民アンケート調査

1) 調査概要

現在の市立図書館の利用状況や新中央図書館に対する市民の意向を把握するため、表 2-1 のとおり「新中央図書館整備に関するアンケート調査」を実施しました。調査は平成 30 年 6 月に実施し、2,000 票の配布に対して 803 票の回答が得られました。

表 2-1 調査概要

番号	項目	概要
1	名称	新中央図書館整備に関するアンケート
2	対象	18 歳以上の市民 2,000 名（無作為抽出）
3	方法	郵送配布・郵送回収
4	期間	平成 30 年 6 月 1 日（金）～17 日（日）
5	内容	1) 現在の市立図書館の利用状況について 2) 新中央図書館に望むことについて 3) 回答者自身について
6	回収数・回収率	803 票・40.2%

2) 調査結果

① 回答者属性

各年代・各居住中学区の回答者から満遍なく回答が得られました。職業では「会社員・公務員」が最多で、「主婦・主夫」，「無職」と続きます。日頃の読書量が月1冊以上の回答者が約70%を占め，読書活動が日常化・習慣化している状況がうかがえます。一方，20～30歳代や80歳代では，ほとんど本や雑誌を読まない回答者の割合が高くなっています。

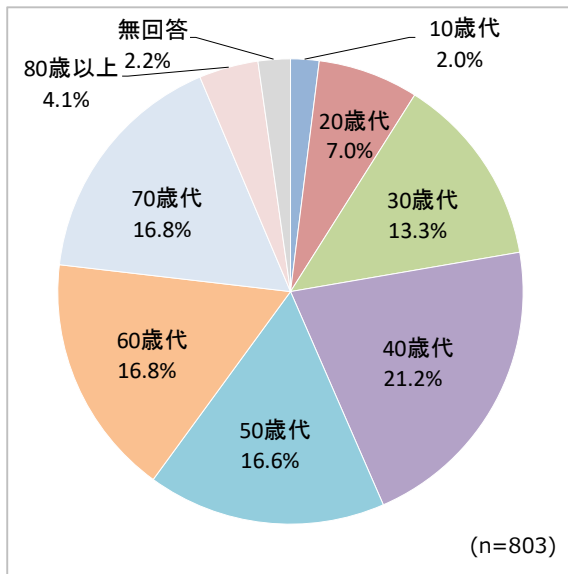


図 2-1 年代

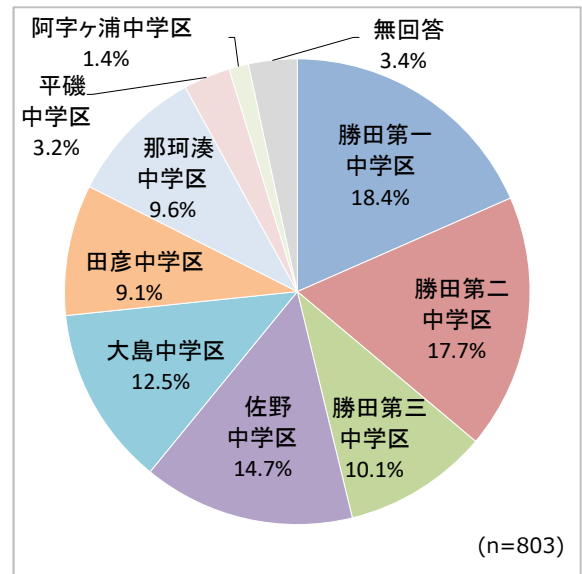


図 2-2 居住中学区

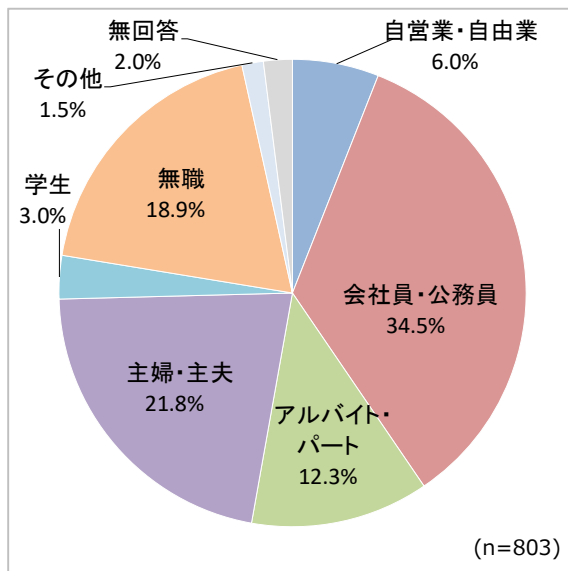


図 2-3 職業

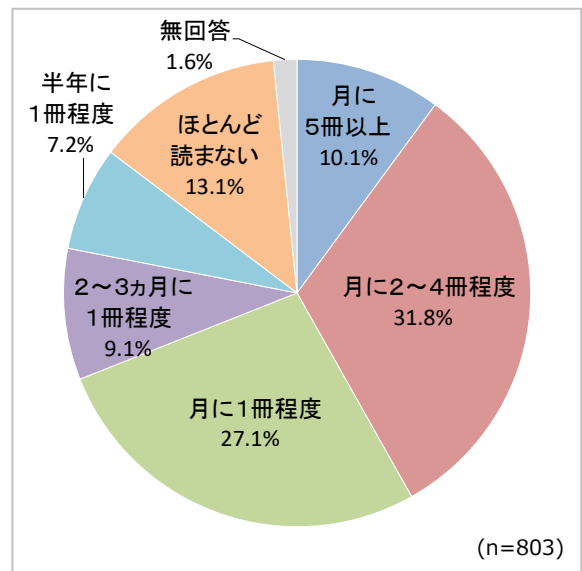


図 2-4 日頃の読書量

表 2-2 日頃の読書量・年代別

[上段:回答数 下段:構成比(%)]

	月に5冊以上	月に2〜4冊程度	月に1冊程度	2〜3カ月に1冊程度	半年に1冊程度	ほとんど読まない	無回答	合計
全体	81 10.1%	255 31.8%	218 27.1%	73 9.1%	58 7.2%	105 13.1%	13 1.6%	803 100.0%
10歳代	3 18.8%	5 31.3%	5 31.3%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%
20歳代	7 12.5%	15 26.8%	11 19.6%	8 14.3%	5 8.9%	10 17.9%	0 0.0%	56 100.0%
30歳代	16 15.0%	27 25.2%	28 26.2%	7 6.5%	10 9.3%	18 16.8%	1 0.9%	107 100.0%
40歳代	18 10.6%	61 35.9%	44 25.9%	19 11.2%	9 5.3%	19 11.2%	0 0.0%	170 100.0%
50歳代	11 8.3%	46 34.6%	41 30.8%	15 11.3%	5 3.8%	15 11.3%	0 0.0%	133 100.0%
60歳代	16 11.9%	45 33.3%	43 31.9%	12 8.9%	8 5.9%	11 8.1%	0 0.0%	135 100.0%
70歳代	6 4.4%	44 32.6%	36 26.7%	12 8.9%	17 12.6%	20 14.8%	0 0.0%	135 100.0%
80歳以上	3 9.1%	11 33.3%	8 24.2%	0 0.0%	1 3.0%	10 30.3%	0 0.0%	33 100.0%
無回答	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	12 66.7%	18 100.0%

② 現在の市立図書館の利用状況

回答者の約半数が過去1年以内に市立図書館を利用しており、さらにその約半数が月1回以上の定期的な利用です。なお、定期的な利用では、「月に2～3回程度」や「月に1回程度」との回答が多く、資料の貸出期間に合わせて利用している状況がうかがえます。

利用目的は資料の貸出・返却が73.1%で、その他の目的での利用はそれぞれ35%以下となっています。また、1時間程度までの短時間利用が全体の約70%を占めていますが、10歳代では2時間以上の利用も多く見られます。

交通手段は「自家用車」が75.3%で、「自転車」、「徒歩」が続きます。

市立図書館を利用しない理由としては、約半数が「本や雑誌は自分で買う」ためとしています。また、インターネットなどの他の手段で資料・情報を入手する傾向も見られます。さらに、「本や雑誌を読まない」ためとする回答者も14.4%存在するほか、利用したくても利用できない市民の存在もうかがえます。

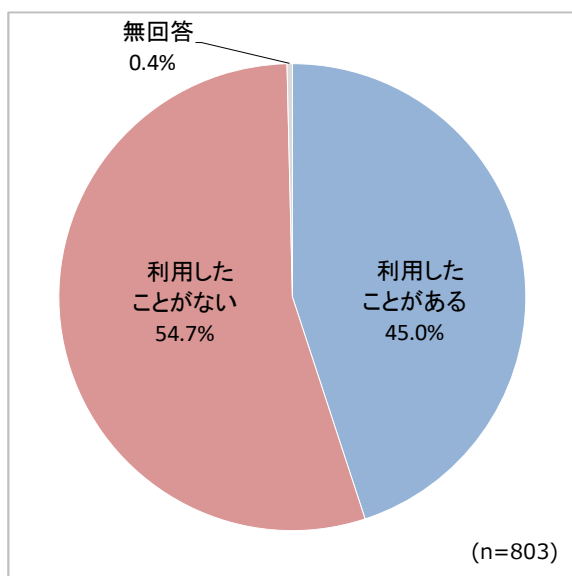


図 2-5 利用の有無

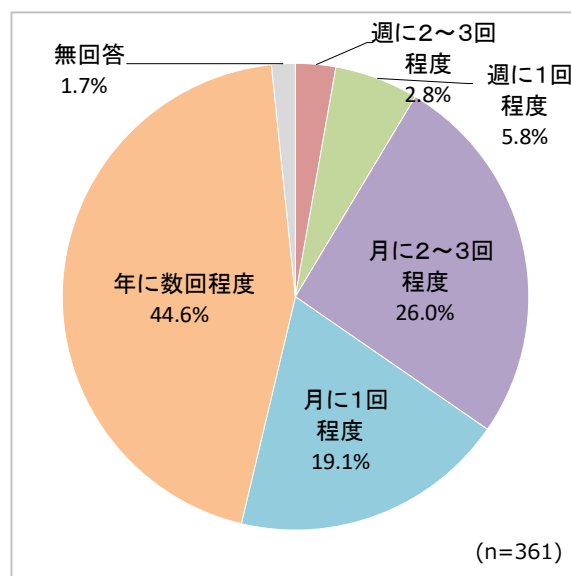


図 2-6 利用頻度

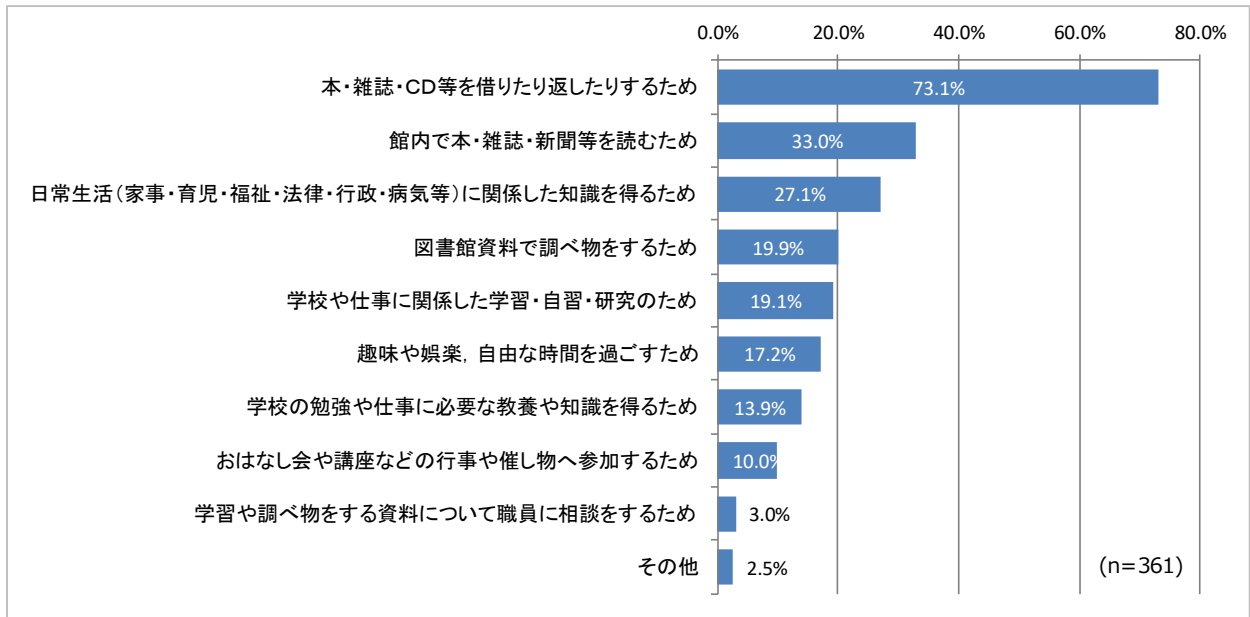


図 2-7 利用目的 (複数回答 : いくつでも)

表 2-3 平均滞在時間

[上段:回答数 下段:構成比(%)]

	30分未満	30分〜1時間程度	1〜2時間程度	2〜3時間程度	3時間以上	無回答	合計
全体	59 16.3%	192 53.2%	85 23.5%	12 3.3%	7 1.9%	6 1.7%	361 100.0%
10歳代	1 7.7%	1 7.7%	4 30.8%	3 23.1%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%
20歳代	2 10.0%	11 55.0%	5 25.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%
30歳代	11 16.2%	48 70.6%	6 8.8%	0 0.0%	2 2.9%	1 1.5%	68 100.0%
40歳代	24 25.8%	45 48.4%	19 20.4%	4 4.3%	0 0.0%	1 1.1%	93 100.0%
50歳代	2 3.9%	31 60.8%	16 31.4%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	51 100.0%
60歳代	10 19.2%	23 44.2%	16 30.8%	0 0.0%	1 1.9%	2 3.8%	52 100.0%
70歳代	9 18.0%	24 48.0%	17 34.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 100.0%
80歳以上	0 0.0%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
無回答	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	5 100.0%

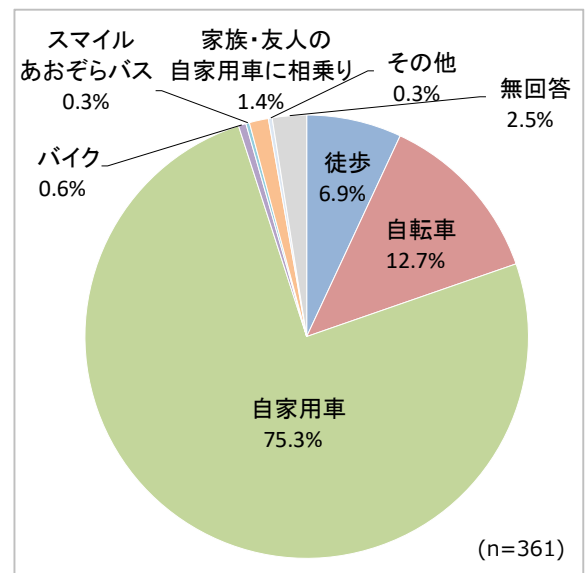


図 2-8 交通手段

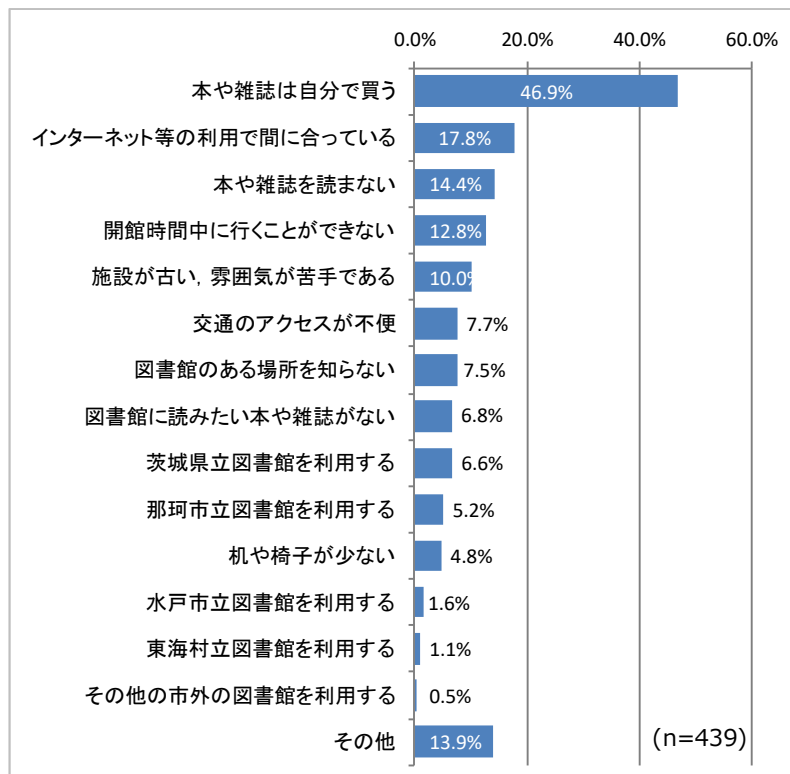


図 2-9 利用しない理由（複数回答：いくつでも）

表 2-4 利用しない理由「その他」に挙げられた意見

意見の主な内容	
<p><u>資料が少ない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CD・DVD の数が少なすぎる ・ 以前利用した際に本が少なく読みたい本もなかった <p><u>利用しづらい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを連れて利用するのは大変 ・ 誰が触ったかわからない本を読みたくない ・ 店舗のように気軽に利用するイメージがない ・ 本の返却が面倒 <p><u>アクセスが確保できない・難しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車スペースが足りない ・ 中央図書館は駐車券が必要で気軽に利用できない ・ 交通アクセスがない ・ 常磐線の西側に市立図書館がない 	<p><u>時間がない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事で多忙 ・ 介護で時間がない ・ 子どもが生まれて利用する時間がない <p><u>他の手段を利用する・利用の必要性がない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館・大学図書館を利用する ・ 学習室もある近隣の公立図書館を利用する ・ インターネットを利用する ・ 利用する必要性がない ・ 子どもが成長した ・ 老齢で目が悪く本を読むことができない

③ 新中央図書館に望むこと

新中央図書館でできると良いこととしては、「ゆったりとくつろいで本や雑誌を読むことができる」とする回答者が 60.9%存在します。さらに、「併設されたカフェなどで本を読みながら飲食ができる」、「パソコンで作業をしたり、Wi-Fiなどでインターネットへ接続したりできる」、「静かな空間で落ち着いて学習ができる」と続いており、ゆとりある空間の整備や読書・学習環境の充実が求められています。

年代別で見ると、10歳代では学習環境の整備、10～20歳代ではICT利用環境の整備、30歳代では児童・子育て支援サービスの提供、40歳代では利用者自身による貸出・返却方法の導入、50歳代以上では医療・健康支援サービスの提供などへのニーズが高くなっています。

充実する必要がある資料では、「趣味・実用書」へのニーズが高く、特に50～60歳代でその傾向が顕著となっています。その他、10歳代では「小説」などの読み物、20～40歳代では「児童書・絵本」などの子育て関連資料、80歳以上では「医療や健康に関する図書」にもニーズが見られます。

また、閉館時間・休館日はいずれも現在のままで良いとする意見が最多となっています。その一方で、平日の「20時まで延長」を望む回答者が17.7%存在するほか、土・日・祝日の「19時まで延長」を望む回答者が22.4%、「18時まで延長」を望む回答者が21.8%存在し、特に10歳代で延長を望む回答が多くなっています。

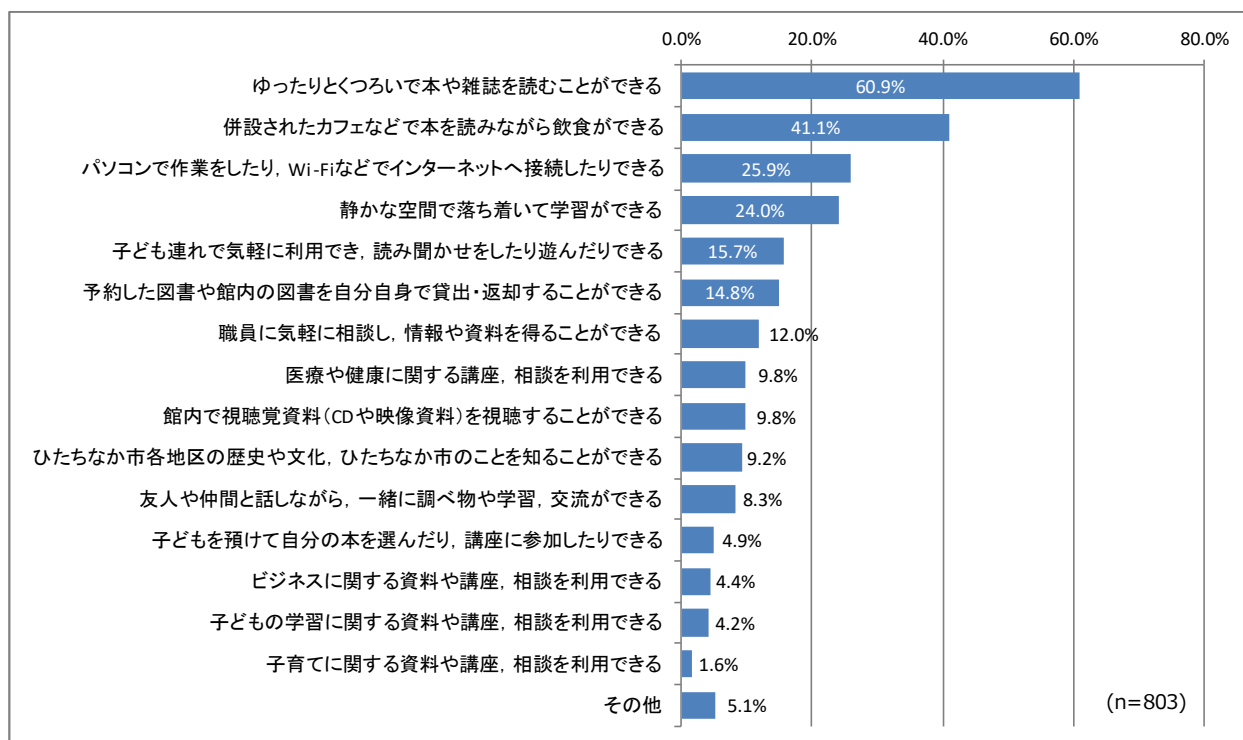


図 2-10 できると良いこと (複数回答：3つまで)

表 2-5 できると良いこと・年代別 (複数回答：3つまで)

	[上段:回答数 下段:構成比(%)]																	
	ゆつたりとくつろいで本や雑誌を読むことができる	静かな空間で落ち着いて学習ができる	職員に気軽に相談し、情報や資料を得ることができる	友人や仲間と話しながら、一緒に調べ物や学習、交流ができる	子ども連れで気軽に利用でき、読み聞かせをしたり遊んだりできる	子どもを預けて自分の本を選んだり、講座に参加したりできる	子どもに関する資料や講座、相談を利用できる	子育てに関する資料や講座、相談を利用できる	ビジネスに関する資料や講座、相談を利用できる	医療や健康に関する講座、相談を利用できる	ひたちなか市各地区の歴史や文化、ひたちなか市のことを知ることができる	パソコンで作業をしたり、Wi-Fiなどでインターネットへ接続、したりできる	館内で視聴覚資料(CDや映像資料)を視聴することができる	予約した図書や館内の図書を自分自身で貸出・返却することができる	併設されたカフェなどで本を読みながら飲食ができる	その他	無回答	合計
全体	489 60.9%	193 24.0%	96 12.0%	67 8.3%	126 15.7%	39 4.9%	34 4.2%	13 1.6%	35 4.4%	79 9.8%	74 9.2%	208 25.9%	79 9.8%	119 14.8%	330 41.1%	41 5.1%	56 7.0%	803 100.0%
10歳代	9 56.3%	8 50.0%	1 6.3%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 68.8%	2 12.5%	1 6.3%	7 43.8%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%
20歳代	31 55.4%	20 35.7%	4 7.1%	4 7.1%	11 19.6%	1 1.8%	1 1.8%	2 3.6%	3 5.4%	2 3.6%	2 3.6%	24 42.9%	8 14.3%	6 10.7%	26 46.4%	4 7.1%	0 0.0%	56 100.0%
30歳代	61 57.0%	21 19.6%	6 5.6%	12 11.2%	54 50.5%	21 19.6%	10 9.3%	6 5.6%	8 7.5%	5 4.7%	6 5.6%	33 30.8%	7 6.5%	15 14.0%	54 50.5%	3 2.8%	3 2.8%	107 100.0%
40歳代	109 64.1%	52 30.6%	12 7.1%	18 10.6%	30 17.6%	13 7.6%	19 11.2%	1 0.6%	10 5.9%	6 3.5%	10 5.9%	53 31.2%	15 8.8%	38 22.4%	74 43.5%	7 4.1%	0 0.0%	170 100.0%
50歳代	95 71.4%	42 31.6%	19 14.3%	4 3.0%	14 10.5%	2 1.5%	3 2.3%	0 0.0%	8 6.0%	16 12.0%	13 9.8%	47 35.3%	13 9.8%	20 15.0%	56 42.1%	8 6.0%	3 2.3%	133 100.0%
60歳代	87 64.4%	28 20.7%	25 18.5%	6 4.4%	7 5.2%	2 1.5%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.2%	17 12.6%	15 11.1%	23 17.0%	16 11.9%	13 9.6%	61 45.2%	11 8.1%	12 8.9%	135 100.0%
70歳代	72 53.3%	14 10.4%	25 18.5%	14 10.4%	5 3.7%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.5%	23 17.0%	22 16.3%	13 9.6%	14 10.4%	20 14.8%	38 28.1%	4 3.0%	26 19.3%	135 100.0%
80歳以上	17 51.5%	5 15.2%	3 9.1%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 27.3%	4 12.1%	1 3.0%	3 9.1%	5 15.2%	7 21.2%	0 0.0%	10 30.3%	33 100.0%
無回答	8 44.4%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	7 38.9%	3 16.7%	2 11.1%	18 100.0%

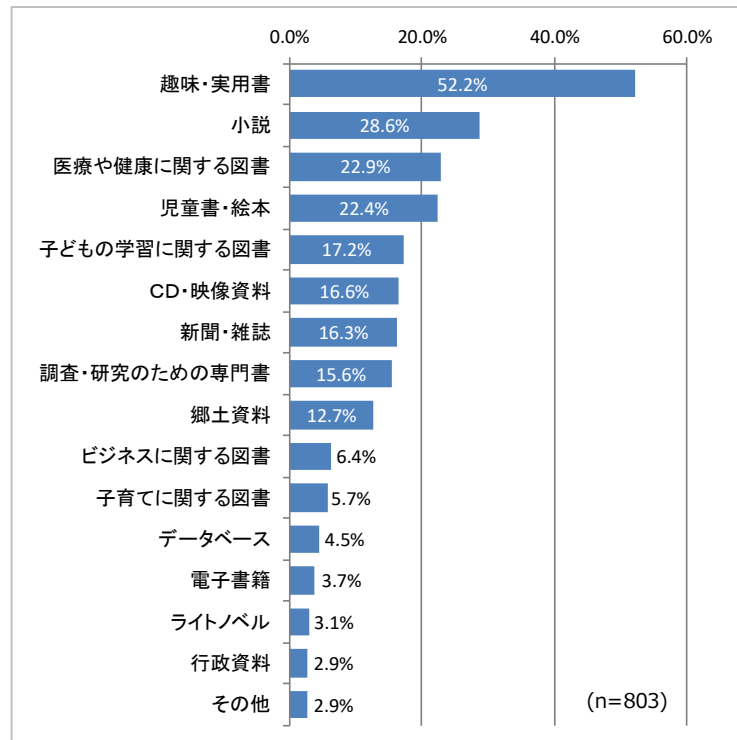


図 2-11 充実する必要がある資料（複数回答：3つまで）

表 2-6 充実する必要がある資料・年代別（複数回答：3つまで）

	[上段:回答数 下段:構成比(%)]																	
	調査・研究のための専門書	趣味・実用書	小説	子どもの学習に関する図書	子育てに関する図書	ビジネスに関する図書	医療や健康に関する図書	新聞・雑誌	児童書・絵本	ライトノベル	郷土資料	行政資料	CD・映像資料	電子書籍	データベース	その他	無回答	合計
全体	125 15.6%	419 52.2%	230 28.6%	138 17.2%	46 5.7%	51 6.4%	184 22.9%	131 16.3%	180 22.4%	25 3.1%	102 12.7%	23 2.9%	133 16.6%	30 3.7%	36 4.5%	23 2.9%	72 9.0%	803 100.0%
10歳代	2 12.5%	9 56.3%	7 43.8%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%	5 31.3%	1 6.3%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	16 100.0%
20歳代	15 26.8%	25 44.6%	20 35.7%	12 21.4%	5 8.9%	2 3.6%	10 17.9%	8 14.3%	17 30.4%	5 8.9%	5 8.9%	1 1.8%	9 16.1%	5 8.9%	4 7.1%	1 1.8%	0 0.0%	56 100.0%
30歳代	14 13.1%	49 45.8%	30 28.0%	34 31.8%	14 13.1%	10 9.3%	12 11.2%	26 24.3%	43 40.2%	3 2.8%	9 8.4%	2 1.9%	18 16.8%	5 4.7%	2 1.9%	3 2.8%	4 3.7%	107 100.0%
40歳代	27 15.9%	85 50.0%	52 30.6%	46 27.1%	14 8.2%	16 9.4%	33 19.4%	38 22.4%	55 32.4%	4 2.4%	19 11.2%	6 3.5%	28 16.5%	9 5.3%	10 5.9%	6 3.5%	1 0.6%	170 100.0%
50歳代	26 19.5%	82 61.7%	37 27.8%	27 20.3%	7 5.3%	12 9.0%	34 25.6%	25 18.8%	30 22.6%	4 3.0%	14 10.5%	3 2.3%	29 21.8%	2 1.5%	9 6.8%	5 3.8%	4 3.0%	133 100.0%
60歳代	25 18.5%	77 57.0%	43 31.9%	7 5.2%	1 0.7%	4 3.0%	37 27.4%	14 10.4%	15 11.1%	4 3.0%	22 16.3%	5 3.7%	26 19.3%	5 3.7%	4 3.0%	3 2.2%	16 11.9%	135 100.0%
70歳代	10 7.4%	70 51.9%	31 23.0%	7 5.2%	3 2.2%	3 2.2%	39 28.9%	14 10.4%	13 9.6%	0 0.0%	27 20.0%	5 3.7%	16 11.9%	3 2.2%	6 4.4%	2 1.5%	32 23.7%	135 100.0%
80歳以上	1 3.0%	15 45.5%	7 21.2%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 39.4%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 15.2%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%	10 30.3%	33 100.0%
無回答	5 27.8%	7 38.9%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%	4 22.2%	0 0.0%	6 33.3%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	4 22.2%	18 100.0%

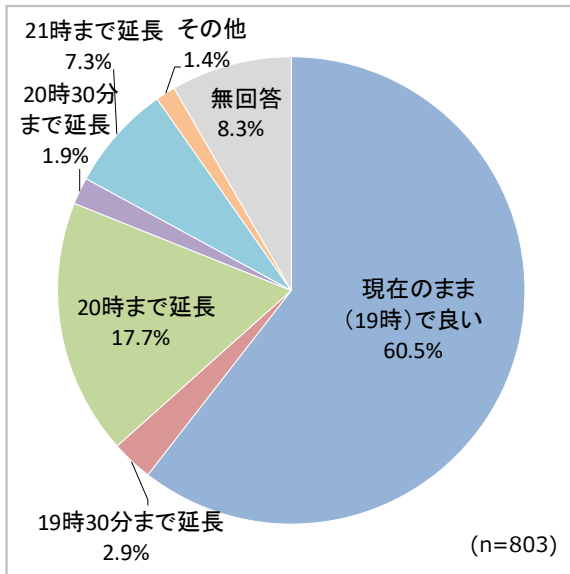


図 2-12 閉館時間 (平日)

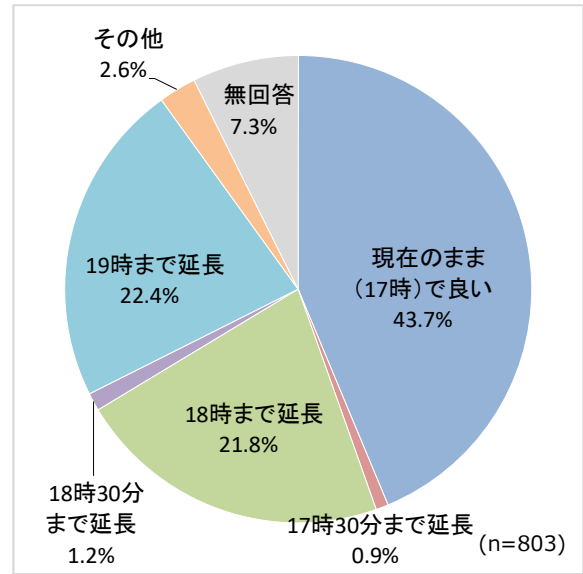


図 2-13 閉館時間 (土・日・祝日)

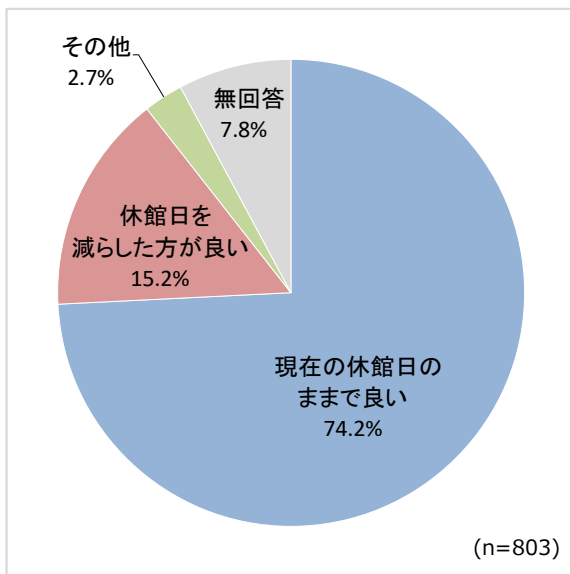


図 2-14 休館日

表 2-7 新中央図書館のサービスなどについての自由意見

自由意見の主な内容	
<p>資料の収集・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数を増やしてほしい ・新しい本を増やしてほしい ・実用書が増えると助かる ・専門書をさらに充実してほしい ・週刊誌・雑誌を充実してほしい ・漫画が読みたい ・CD・DVDを増やしてほしい ・英語の本や絵本を増やしてほしい ・芸術・文化(特にひたちなか市関連)に関する資料の充実・差別化が必要 <p>貸出・返却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出や返却を機械化してほしい ・「読書通帳」を導入してほしい ・駅前や市役所などに返却ボックスを設置してほしい ・移動図書館も検討してほしい <p>閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子の数を増やしてほしい ・CDの視聴環境を充実してほしい ・子どもと大人向けのスペースを分けてほしい ・子どもが読書をしたくなる環境があると良い ・親子での読み聞かせが可能なスペースがほしい <p>調査・相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本とPCを併用した調べものが可能な環境があると良い ・蔵書検索システムを充実してほしい ・子育て・介護・行政・法律に関しての図書だけでなく相談機能もあると良い <p>広報・行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報・HPなどで図書館の様子や新刊書などを紹介するともう少し身近に感じられる ・本に関するイベントを増やしてほしい ・古本市やミニシアターなどを開催してほしい ・土日に子ども向けイベントを開催してほしい <p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習室を充実してほしい ・子どもが安心して勉強できる場所がほしい ・個人席が多い方が良い ・Wi-Fiを利用可能にほしい 	<p>集会・交流・飲食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かに本を読むだけの場所ではなく、多世代が集い、交流することが可能な開放的で居心地の良い空間にほしい ・子ども連れでもゆっくり過ごせる図書館が良い ・子どもの遊び場があるとうれしい ・これからのまちのコミュニティの中心となることを楽しみにしている ・無料かつ予約制のミーティングルームがあると良い ・明るい建物になるようにカフェスペースがあると良い ・飲食可能なスペースがほしい ・カフェスペースや自動販売機を設置してほしい <p>館内の雰囲気</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間ができたらすぐに足を運びたいような魅力ある図書館にほしい ・明るい空間があり、子どもたちが本好きになるような図書館にほしい ・明るい雰囲気で気軽な利用が可能になれば利用したい ・広く静かな空間であれば利用したい <p>利用しやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化してほしい ・大活字本の提供や、使いやすいトイレの設置といった少子高齢化に対応したサービスを提供してほしい ・高齢者でも利用しやすい図書館が良い <p>駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の充実が必要 ・駐車場を広くしてほしい ・無料駐車場を設置してほしい <p>管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間帯を拡大してほしい ・職員の質の向上が必要 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人の意見を聞いてほしい ・交通アクセスに配慮してほしい ・玄関前にある桜の木は残してほしい

(2) 高校生等アンケート調査

1) 調査概要

市民アンケート調査の対象とならなかった市内の高等学校・高等専門学校に通学する生徒・学生を対象に、現在の市立図書館の利用状況や新中央図書館に対する意向を把握するため、表 2-8 のとおりアンケート調査を実施しました。調査は市民アンケート調査と同様平成 30 年 6 月に実施し、199 票の回答が得られました。

表 2-8 調査概要

番号	項目	概要		
1	名称	新中央図書館整備に関する高校生等向けアンケート		
2	対象	勝田高校，勝田工業高校，佐和高校，那珂湊高校，海洋高校及び茨城工業高等専門学校の 6 校の生徒・学生		
3	方法	各校での直接配布・直接回収		
4	期間	平成 30 年 6 月 15 日（金）～27 日（水）		
5	内容	1) 現在の市立図書館の利用状況について 2) 新中央図書館に望むことについて 3) 回答者自身について		
6	回収数	199 票	勝田高校：32 票	勝田工業高校：38 票
			佐和高校：30 票	那珂湊高校：35 票
			海洋高校：32 票	茨城工業高等専門学校：32 票

2) 調査結果

① 回答者属性

回答者のうち、市内在住者と市外在住者の比率はほぼ半々となっています。日頃の読書量は市民アンケート調査結果よりも少ないものの、月に1冊以上読む回答者が約半数を占めています。また、「ほとんど読まない」の割合は、1学年から3学年までは学年とともに増加傾向にあります。

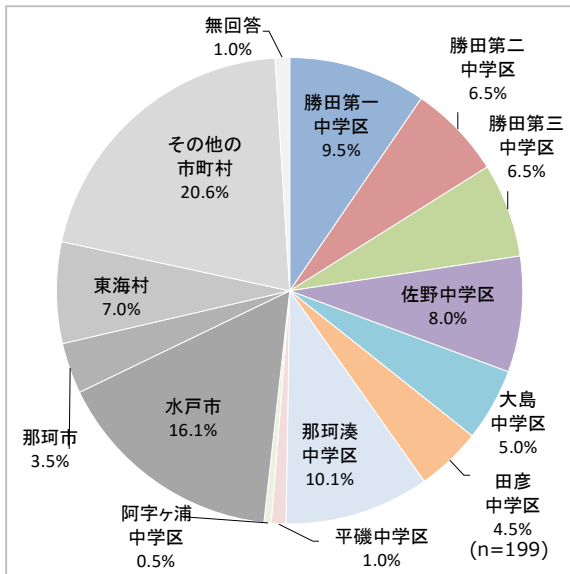


図 2-15 居住中学区

表 2-9 日頃の読書量・学年別

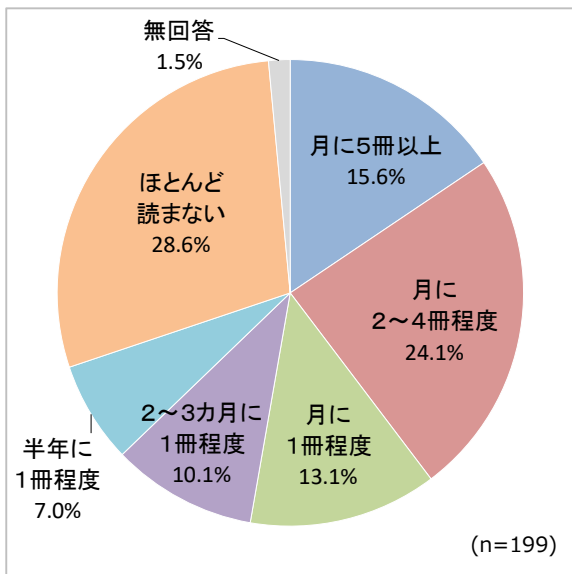


図 2-16 日頃の読書量

	[上段:回答数 下段:構成比(%)]							合計
	月に5冊以上	月に2~4冊程度	月に1冊程度	2~3カ月に1冊程度	半年に1冊程度	ほとんど読まない	無回答	
1学年	3 15.0%	6 30.0%	2 10.0%	5 25.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	20 100.0%
2学年	9 15.5%	14 24.1%	6 10.3%	6 10.3%	7 12.1%	16 27.6%	0 0.0%	58 100.0%
3学年	16 17.2%	14 15.1%	14 15.1%	9 9.7%	6 6.5%	34 36.6%	0 0.0%	93 100.0%
4学年	3 21.4%	6 42.9%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	14 100.0%
5学年	0 0.0%	8 66.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	12 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	2 100.0%
全体	31 15.6%	48 24.1%	26 13.1%	20 10.1%	14 7.0%	57 28.6%	3 1.5%	199 100.0%

② 現在の市立図書館の利用状況

回答者の約30%が「利用したことがある」と回答しています。

市立図書館を利用しない理由では、「本や雑誌は自分で買う」ための割合が最多ですが、その割合は市民アンケート調査結果の約半分となっています。また、学校図書館や居住自治体の図書館を利用するとの回答のほか、「本や雑誌を読まない」ためや「図書館のある場所を知らない」ためとする回答も比較的多く見られます。

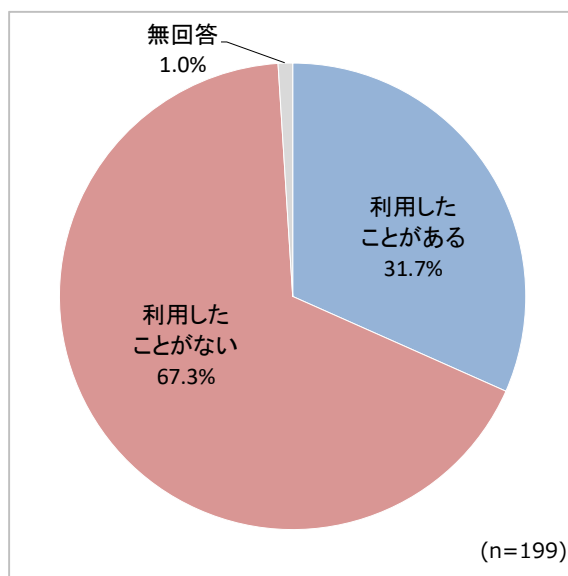


図 2-17 利用の有無

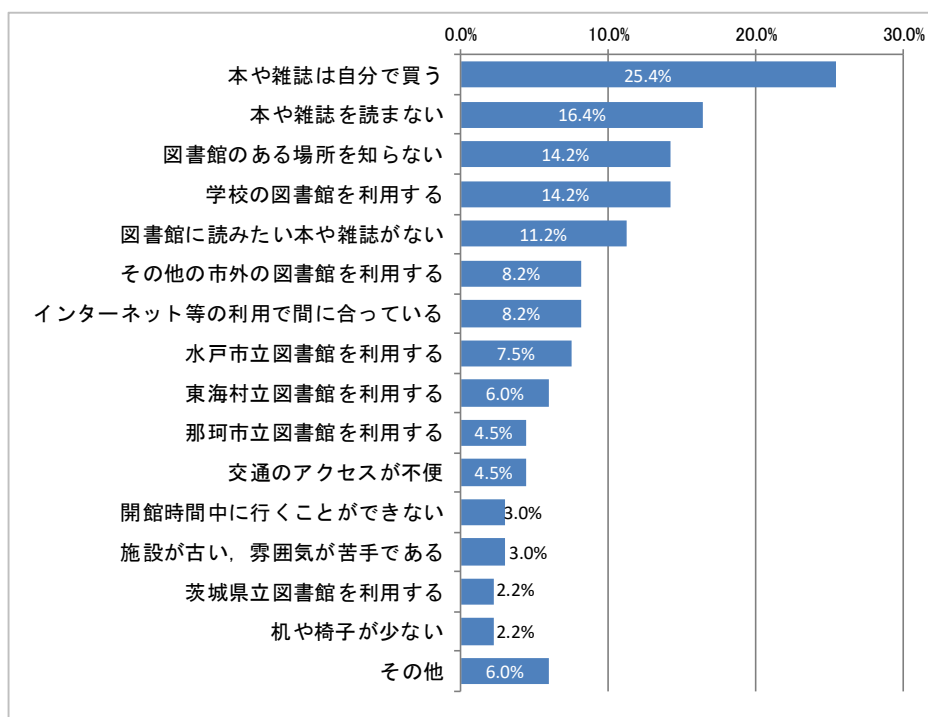


図 2-18 利用しない理由（複数回答：いくつでも）

③ 新中央図書館に望むこと

新中央図書館でできると良いこととしては、市民アンケート調査結果と同様「ゆったりとくつろいで本や雑誌を読むことができる」が最多ですが、ICT利用環境や静かな学習環境、グループ学習・交流環境へのニーズは、市民アンケート調査結果を大きく上回っています。

充実する必要がある資料では、「小説」が47.7%と最多で、次いで市民アンケート調査結果で最多の「趣味・実用書」となっています。「調査・研究のための専門書」や「ライトノベル」には、市民アンケート調査結果よりも高いニーズが見られます。「その他」の意見として、進学や就職など進路に関する本やマンガなどの充実が望まれています。

閉館時間の希望としては、平日は「現在のまま（19時）で良い」が46.2%で最多となっており、「20時まで延長」と「21時まで延長」がそれぞれ18.1%となっています。土・日・祝日では、「19時まで延長」が32.2%と最多で、次いで「現在のまま（17時）で良い」が31.7%、「18時まで延長」が21.6%となっており、延長を望む回答が平日よりも多くなっています。休館日は、「現在のままで良い」が75.4%と最多で、市民アンケート調査とほぼ同じ結果となっています。

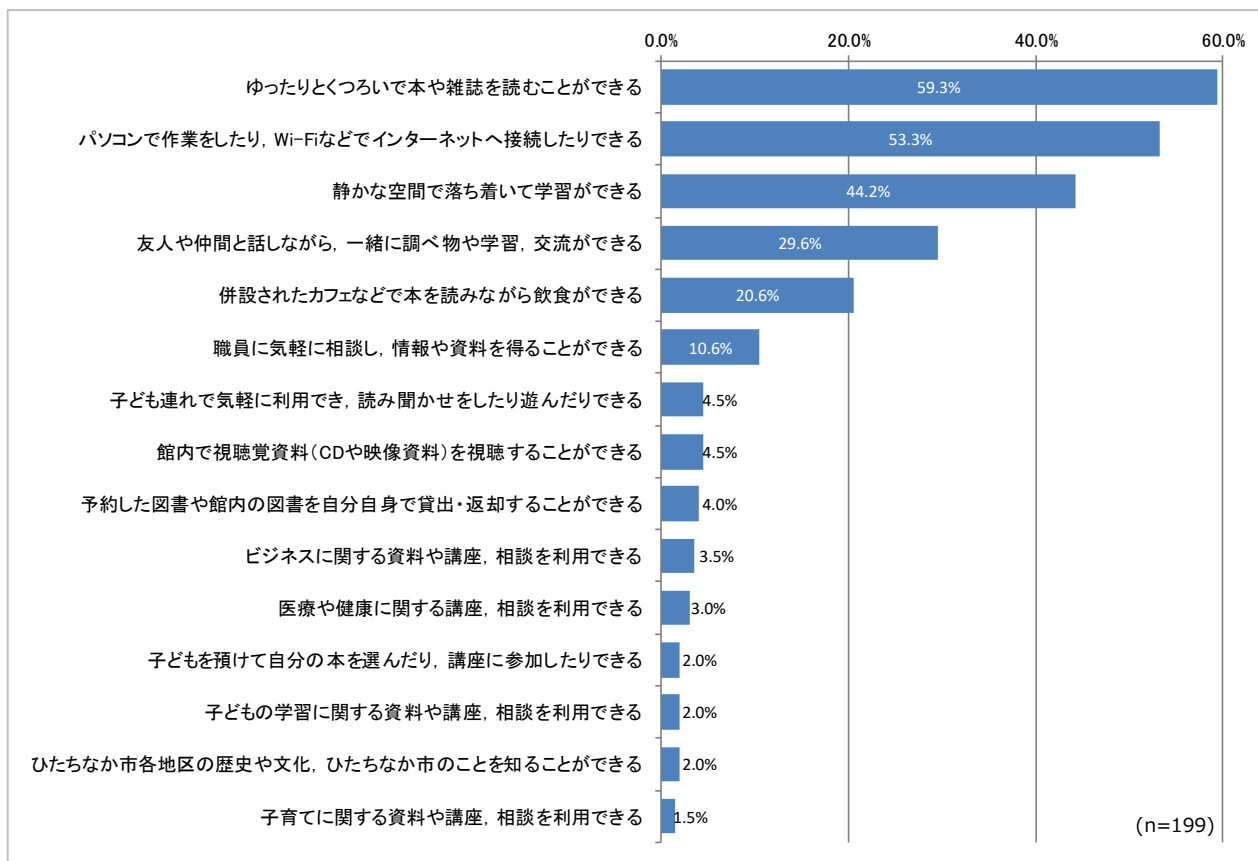


図 2-19 できると良いこと（複数回答：3つまで）

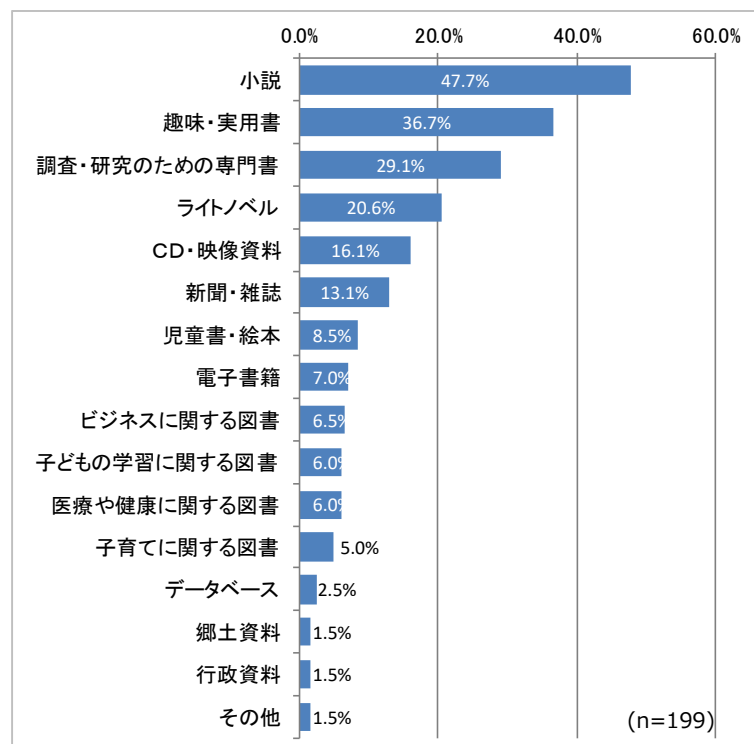


図 2-20 充実する必要がある資料（複数回答：3つまで）

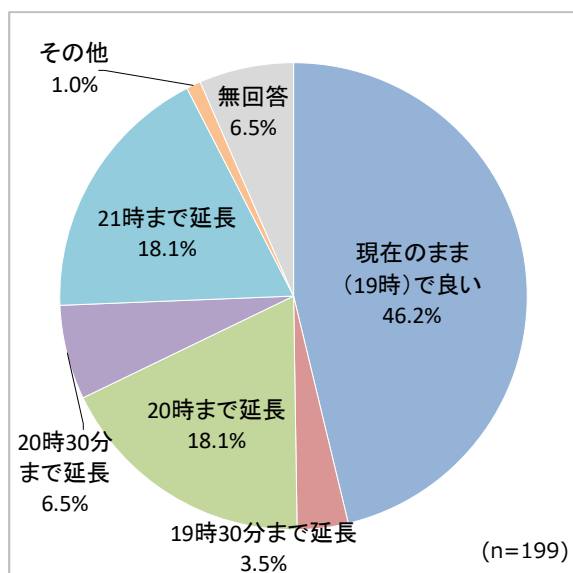


図 2-21 閉館時間（平日）

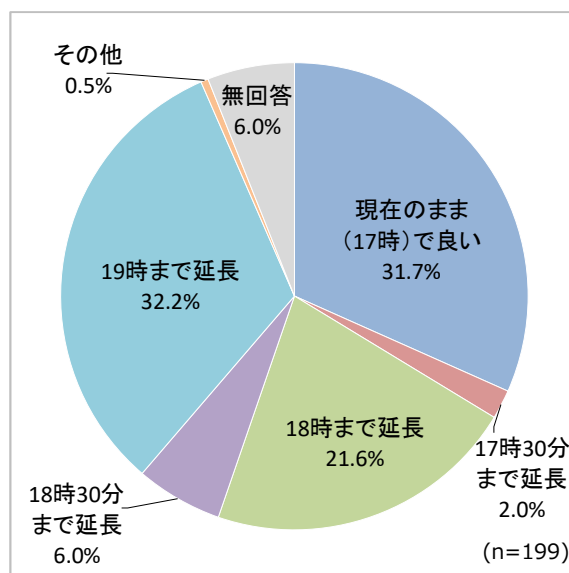


図 2-22 閉館時間（土・日・祝日）

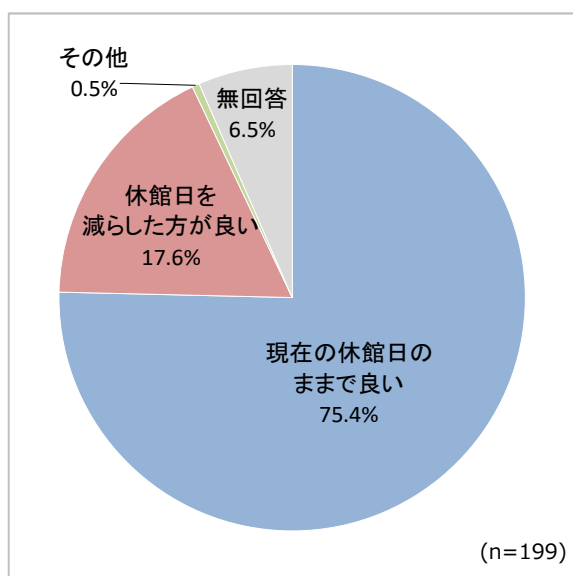


図 2-23 休館日

表 2-10 新中央図書館のサービスなどについての自由意見

自由意見の主な内容	
<p>貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数を増やしてほしい <p>閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい書架配置にしてほしい 一般利用が可能なPCを設置してほしい <p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 広く、座席数の多い学習室がほしい 勉強会が開催可能なスペースがほしい Wi-Fiを利用可能にしてほしい <p>※同意見8件</p>	<p>集会・交流・飲食</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ悩みを持つ人同士の交流機会があると良い 年代別で楽しめる利用しやすいスペースがほしい 勉強や話し合いができるスペース、幼児向けのスペース、ソファ等でゆっくり過ごせるスペースなどがほしい 会話が可能なスペースと静かに過ごせるスペースとを共存させてほしい 飲食しながら読書することが可能なスペースがほしい カフェ、ドリンクバーなどを備えた飲食可能なスペースがほしい、卓球ができるスペースがほしい <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化してほしい

2-2 聞き取り調査

(1) 調査概要

市民アンケート調査の対象とならなかった中高生や、市民ワークショップでは意向把握の難しいと思われる子育て世代を対象に、現在の市立図書館の利用状況や新中央図書館に対する意向を把握するため、表 2-11 のとおり聞き取り調査を実施しました。調査は、平成 30 年 6 月から 7 月にかけて実施し、中高生はグループインタビュー形式、子育て世代は簡易調査票を用いた個別記入形式としました。

表 2-11 調査概要

番号	項目	中高生	子育て世代
1	対象内訳	① 勝田第二中学校生徒 10 名 ② 勝田第三中学校生徒 9 名 ③ 高校生会 所属生徒及び卒業生 7 名	① 子育て支援センター「ふぁみりこ」 利用者 19 名 ② 中央図書館おはなし会参加者 8 名
2	日時	平成 30 年 6 月 19 日(火), 28 日(木), 7 月 5 日(木) 各回 1 時間 計 3 回	平成 30 年 7 月 13 日(金) 各回 30 分 計 2 回
3	場所	① 勝田第二中学校会議室 ② 勝田第三中学校図書館 ③ 子育て支援・多世代交流施設 「ふぁみりこらぼ」協働会議室	① 子育て支援センター「ふぁみりこ」 ② 中央図書館
4	内容	1) 読書習慣について 3) 図書館に望むことについて	2) 図書館利用状況について 4) その他

(2) 調査結果

1) 中高生

中学生と高校生（卒業生含む）の双方で小説を中心とした幅広い読書活動が行われていますが、読書量や頻度は高校生で低下し、その理由として読書時間の確保の難しさや読書機会の減少などが挙げられました。日常的な本の入手先としては書店や学校図書館が中心で、公共図書館の利用頻度は高くない状況です。

図書館全般については静寂な環境が肯定的に捉えられている一方で、館内の雰囲気や他の利用者との関わりなどの面では利用しづらい印象を持たれています。中央図書館については、特に書架やカウンター、閲覧室、ロビーなどの使いにくさを指摘する回答が見られました。

なお、資料の貸出・返却や学習を目的とした図書館利用は多くの回答者が経験していますが、定期的・継続的利用にはつながっていません。距離的理由や時間的理由から、休日や長期休暇での利用や保護者同伴での利用が主という結果となっています。

新中央図書館に望むこととしては、マンガやアニメ、ポピュラー音楽などポップカルチャーに関連する資料・イベントの充実が挙げられました。イベントに関しては、特に高校生で企画・運営への積極的な参画意向も見られます。また、セルフ貸出や Wi-Fi などの ICT 利用環境にも高い関心が寄せられました。さらに、個人や友人同士、グループなどの多様な利用形態に対応した学習環境のほか、飲食・休憩可能な空間や BGM の流れる空間といった滞在型利用に対応した環境の充実も求められています。

中央図書館の移転に関しては、アクセスが良く利用しやすい位置を希望する意見が多くなっています。また、ティーンズコーナーについては、児童開架室・一般開架室いずれへの配置に対してもニーズが見られますが、独立性が保たれていれば良いとの意見もあり、気兼ねなく利用できるコーナーのあり方が求められているものと考えられます。

表 2-12 聞き取り調査結果（中高生）

		勝田第二中学校(10名)	勝田第三中学校(9名)	高校生会(7名)
(1) 読書習慣	① 頻度	<ul style="list-style-type: none"> ● よく読む(9名) ✓ 週1冊程度(6名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● よく読む(7名) ✓ 週1, 2回程度(5名) ✓ 毎日 ✓ 週4冊程度 	<ul style="list-style-type: none"> ● よく読む(2名) ● 月2冊程度
	② 内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 小説(10名) ● 図鑑やトリックアートの本 ● 中高生向けの理系の本 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小説(8名) ✓ ライトノベル(2名) ● サバイバル・脳科学・手芸等の本 ● マンガ(5名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小説 ● ミステリー小説や児童書 ● ツイッターから書籍化された本 ● 携帯小説
	③ 本の入手方法	<p>日常的な入手方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館で借りる(4名) ● 家族から借りる ● 書店で購入する <p>その他の入手方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書館で借りる(4名) 	<p>日常的な入手方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家族から借りる ● 書店で購入する(4名) <p>その他の入手方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書館で借りる(5名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 書店で購入, ネット書店はあまり利用しない ● 学校図書館で借り, 気に入れば購入する ● 学校図書館や図書館で借りる
	④ 読書しない理由	—	● 塾や部活に忙しいため	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活や勉強に忙しいため ● 高校生になり読書をしなくなったため ● 大学生になり読書の機会が減ったため
(2) 図書館利用状況	① 現在の図書館のイメージ	<p>中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな絵本がある ● 児童開架室と一般開架室が離れているため子どもの頃は不安に感じた ● 書架の間隔が狭い ● 書架の下部の本が取りづらい ● 書架が高く本が取りづらい ● 学習室は年長者がいると利用しづらい ● カウンターが混雑しており職員に声をかけづらい 	<p>図書館全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 静か(6名) ● 静かで使いやすい(2名) ● 静かすぎて遠慮してしまう ● 中学生は勉強以外では利用しづらい ● 冷房が効いていて落ち着く ● OPACで検索しても本が探しづらい 	<p>図書館全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入口に威圧感があって入りづらい ● 会話をしたり物音を立てたりしてはいけない雰囲気がある <p>中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 暗い(全体・飲食スペース) ● 6人掛けの学習席は圧迫感があり利用しづらい <p>佐野図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 明るい ● 読み聞かせによく参加した
	② 利用有無	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用したことがある(6名) ✓ 中央図書館(4名) ✓ 津田分室(3名) ✓ 那珂市立図書館(6名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用したことがある(8名) ✓ 中央図書館 ✓ 那珂湊図書館(3名) ✓ 佐野図書館(4名) ✓ 東海村立図書館(2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用したことがある(全員) ✓ 小学生までは利用していた ✓ 中学生までは利用していた ✓ 中学生までは学習室を利用していたが, 混雑のため県立図書館を利用するようになった

	勝田第二中学校(10名)	勝田第三中学校(9名)	高校生会(7名)	
③ 利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本を借りるため ● 勉強するため ● 夏休みの宿題をするため 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本を借りるため ● 本を読むため 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本を借りるため ● 勉強するため 	
④ 利用頻度 ・曜日	<ul style="list-style-type: none"> ● 月1回程度(4名) ● 夏休みなど ● 休日に利用(全員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 月1回程度 ● 3カ月に1回程度 ● 半年に1回程度 ● 休日に利用(8名) 	—	
⑤ 来館 手段	● 保護者の運転する車(全員)	● 保護者の運転する車(8名)	—	
⑥ 利用しな い理由	—	● 自宅から遠いため	<ul style="list-style-type: none"> ● 自宅から遠いため ● 大学図書館を利用するため ● 部活や勉強に忙しいため 	
(3) 図書館に望むこと	① 資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 国語の教科書に掲載されている作者の本 ● 様々な人物について書かれた本 ● ミュージシャンが書いた本 ● 映画の原作本, ノベライズ本 ● アニメ・ゲーム関連の本 ● 観光雑誌, ガイドブック ● 参考書, 問題集 ● ファッション誌などの雑誌 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライトノベル(2名) ● 障害のある人のための本 ● マンガ(コミック, マンガで書かれた本) ● 新聞 ● ファッション誌 ● DVD(「ハリー・ポッター」シリーズやディズニーアニメなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新刊書 ● 外国の児童書 ● 単行本を経ずに文庫本で刊行された本
	② サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● セルフ貸出 ● PCの貸出(インターネット利用) ● 見開きにした図書の展示 ● 図書の特集展示 ✓ 汚破損本 ✓ 流行に合わせた本 ✓ 職員のおすすめ本 	<ul style="list-style-type: none"> ● セルフ貸出 ● ジャンル別の図書の配架と検索 ● タブレット端末の貸出 ● Wi-Fi 利用環境の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● POPによる図書の紹介 ● 所蔵資料のPR ● 学習室での写真集等の展示 ● 意見箱設置や意見交換の場の提供 ● PCの貸出 ● 月曜日開館
	③ イベント	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 映画や音楽の鑑賞(4名) ● ものづくり(2名) ● ファッション関連(3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボードゲーム ● 図書館の清掃など, 学生が図書館を訪問
	④ 運営への 参加	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加してみたい(2名) ✓ セタなど季節のイベントの企画 ✓ 誘導や案内 	● 参加してみたい(全員)

	勝田第二中学校(10名)	勝田第三中学校(9名)	高校生会(7名)
⑤ 施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生専用スペース ● 友人との勉強に利用可能なスペース ● 使用人数によって広さが調節可能な学習室 ● 座席の間隔が広い学習席 ● 那珂市立図書館のような書架から適度に離れた窓際の座席 ● DVDの視聴席 ● 待ち合わせに利用可能なスペース ● 飲食可能なスペース ● エレベーター(バリアフリー) ● きれいなトイレ ● 大分市民図書館(複合文化施設「ホルトホール大分」内/延床面積約 4,500 m²)のような図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友人との読書や勉強, 会話が可能なスペース ● 高い間仕切りのある学習席 ● 一般開架室と分離して設置することで, 子どもが気兼ねなく利用できる児童開架室 ● DVDの視聴席(個人用・グループ用) ● 気軽に利用できる空間 ● クラシックや自然音が流れる空間 ● 休憩・飲食スペース ● 自動販売機 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友人との勉強に利用可能なスペース ● グループ学習室や個人学習席 ● 自然音が流れるなど, 音を立てても良いスペース ● 会話をしながら気楽に利用できるスペース ● 談話スペース ● 明るい雰囲気のある飲食スペース
(4) その他	① 中央図書館が移した場合約が利用の転 やすさ <ul style="list-style-type: none"> ● 駅から近い方が良い ● 移転してアクセスしやすくなれば利用したい ● 今より遠くなると行きづらい ● 今の場所が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 分かりやすい場所にあれば利用したい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車で行ける範囲であれば利用したい ● 「ふぁみりこらぼ」近辺であれば利用したい
② ティーンズコーナーの配置	<u>児童開架スペースにあると良い</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 保育士を目指す人などには良い ✓ 友人と会話しながら利用できる ✓ 弟妹と一緒に利用しやすい <u>一般開架スペースにあると良い</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 勉強しやすい ✓ 利用しやすい ✓ 保護者と一緒に利用しやすい ✓ 児童開架スペースの近くに中高生がいると小さな子どもが利用しづらくなる <u>どちらともいえない</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 部屋として区切られていれば良い ✓ 独立したコーナーがあれば良い ✓ 児童開架スペースと一般開架スペースの間にあると良い 	<p style="text-align: center;">-</p>	<u>児童開架スペースにあると良い</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 児童書が好きでよく利用する ✓ 弟妹と一緒に利用しやすい ✓ 子どもと接する機会が増える ✓ 児童開架スペースを利用することへの抵抗が減る <u>一般開架スペースにあると良い</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「児童」という名称が恥ずかしい ✓ 読む本の幅が広がる

2) 子育て世代

子育て世代では、子どもと一緒に絵本や児童書を読んでいるとの回答が多く見られます。保護者単独での読書活動も行われてはいますが、読書時間の確保が難しいとの回答が一定数存在しています。

中央図書館をはじめとする図書館の利用経験を有する回答者が多く、資料の貸出・返却やおはなし会への参加を目的とした定期的な利用が多い傾向にあります。一方で、他の利用者への遠慮などを理由に、親子連れでの利用に消極的な回答も見られます。

新中央図書館に対しては、親子連れを対象とするイベントの充実や利便性向上に資する取り組み、親子で遊んだり食事をしたりしながら、気兼ねなくゆっくりと過ごすことのできる環境の充実などが求められています。

中央図書館が移転した場合の利用のしやすさについては、中央図書館利用者では変わらないとの回答が過半数ありましたが、子育て支援センター「ふぁみりこ」利用者では、立地や駐車場の利便性次第では向上するとの回答も見られました。

表 2-13 聞き取り調査結果（子育て世代）

		子育て支援センター「ふあみりこ」(19名)	中央図書館(8名)
(1) 読書習慣	① 頻度	<ul style="list-style-type: none"> ● 読む(12名) ● 読まない(7名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 読む(7名) ● 読まない(1名)
	② 内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本, 児童書(9名) ● 趣味・実用書(5名) ● 小説(3名) ● 雑誌(3名) ● 子育て本(2名) ● マンガ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本(4名) ● 小説(2名) ● 雑誌
	③ 読書しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間がない(6名) ● 他にやりたいことがある 	● 集中できない
(2) 図書館利用状況	① 利用有無	<ul style="list-style-type: none"> ● よく利用する(10名) ✓ 中央図書館(5名) ✓ 佐野図書館(3名) ✓ 水戸市立西部図書館 ✓ 那珂市立図書館 ✓ 東海村立図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ● よく利用する(7名) ✓ 中央図書館(5名) ✓ 佐野図書館(2名)
	② 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本(絵本, 自分の趣味の本など)を借りるため(9名) ● おはなし会に参加するため 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本(子どもの絵本など)を借りるため(5名) ● おはなし会に参加するため
	③ 利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> ● 週に1回 ● 2週に1回(4名) ● 月に1, 2回(3名) ● 2カ月に1回 	<ul style="list-style-type: none"> ● 月に2, 3回(4名) ● 月に1回(2名) ● たまに
	④ 利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが静かにできず, 周りに迷惑をかけるため(4名) ● 遠いため(2名) ● 古いため ● 駐車場が不便なため ● 蔵書数が少なく, 新しい本がないため 	—
(3) 図書館に望む事項	① 資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児向けの厚紙で作られた絵本 ● 新刊本や人気の本 	—
	② サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童書の一般カウンターでの返却 ● 大型絵本の貸出 ● 子ども向けイベントの開催(5名) ✓ おはなし会・おひるねアート ✓ 上記イベントの平日開催 ● 本を選ぶ間の託児サービスの提供 ● おもちゃの貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ● セルフ貸出・返却 ● おすすめ本の展示 ● 子ども向けイベントの開催 ✓ インタラクティブプロジェクト(人の動きや音などに応じて変化する映像を建物などの立体物へ投影する技術)の体験機会







		子育て支援センター「ふあみりこ」(19名)	中央図書館(8名)
	③施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児連れでも気軽に利用可能なスペース(15名) ✓ 子どもが自由に本を楽しめるスペース ✓ 親子で一緒に本を楽しめるスペース ✓ 騒がしくしても良い部屋 ✓ 子どもや親子が遊べるスペース(7名) ● 授乳室(2名) ● 子ども用トイレ ● 飲食スペース, カフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子で気兼ねなく利用できる ● 親子で遊べる ● 赤ちゃんもゆったりと座って本を楽しめるスペース ● 靴を脱いで利用可能なスペース ● 子ども同士での勉強や, グループでの活動に利用可能なスペース ● 子どもの遊び場 ● 子どもが過ごしやすい環境 ● 授乳室, おむつ替えルーム ● カフェ
(4)その他	中央図書館が移転した 場合の 利用の しやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ● 場所による(4名) ✓ 今の場所から近いと良い ● わからない(3名) ● 変わる(2名) ● 駅より西側に移転すると良い ● 公園と併設すると良い ● 駐車場が使いやすいと良い ● 駐車台数が多いと良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 変わらない(5名) ✓ 市内ならどこでも可 ● わからない

2-3 市民ワークショップ

(1) 実施概要

新中央図書館に望む機能などについての市民の意向を把握するため、表 2-14 のとおり公募市民の参加によりワークショップを2回実施しました。

表 2-14 市民ワークショップ概要

番号	項目	概要
1	名称	新中央図書館を考える市民ワークショップ ～より魅力的で楽しい図書館について語り合いましょう～
2	対象	市内在住の中学生以上 30 名
3	日時	平成 30 年 7 月 29 日 (日) , 8 月 26 日 (日) 各回 13 : 30 ~ 16 : 00
4	場所	子育て支援・多世代交流施設「ふあみりこらぼ」研修室
5	内容	<p>第1回 参加者：27名，編成：5グループ（うち1グループは中高生で構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新中央図書館整備概要説明 ● 勉強会「最近の図書館はどんなところ？」（講師：内野安彦氏） ● グループワーク「中央図書館の良い点・改善が必要な点」 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備概要説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>勉強会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>グループワーク</p> </div> </div> <p>第2回 参加者：22名，編成：5グループ（うち1グループは中高生で構成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回ワークショップの振り返り ● グループワーク「図書館でこんなことができればいいな」 ● グループワーク結果発表 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>グループワーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>グループワーク結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>結果発表</p> </div> </div>

(2) 実施結果

第1回ワークショップでは、中央図書館の良い点・改善が必要な点について意見交換を行いました。

資料やサービスに関しては、児童書などの一部の資料や子ども向け行事の豊富さのほか、カウンター対応などが良い点として挙げられました。一方、蔵書の量や種類、鮮度などには課題が見られました。郷土資料などでは、豊富さと少なさの双方を指摘する意見も見られます。また、多様な利用者に配慮した対応の充実や利用機会の拡大、貸出・返却時の利便性の向上、運営への参画機会の確保なども求められています。

施設・設備面に関しては、閲覧環境や児童開架室の配置、駐車場規模や交通アクセスを評価する意見が複数挙げられました。一方で、施設の規模や雰囲気、利用のしやすさや多様な利用形態への対応などの面で改善が必要との意見が見られます。なお、一般開架室と児童開架室の配置については、分離していることが良いとする意見と不便とする意見との双方が見られました。

続いて、第2回ワークショップでは、第1回の結果を踏まえた上で、新中央図書館でできたら良いことについて意見交換を行いました。年代やライフステージ、利用目的や利用者特性などを切り口として、グループごとに新中央図書館の利用者像を想定し、それらが図書館でできると良いこと、その実現に必要なサービス・施設などについて意見を出し合うという方法をとりました。

「利用者全般」に関しては、十分な資料の閲覧や自身の抱える課題の解決、滞在・交流などに資する機能が必要とされています。「子ども・親子連れ」や「中高生・学生」に対しては、利用者間の会話や交流のための場や機会が重視されました。また、「高齢者」に対しては、気軽な利用や交流、健康づくりが可能な居場所としての機能の必要性が挙げられました。さらに、身体的・心理的負担や時間的制約のある市民の利用機会拡大に配慮した意見も多数挙げられたほか、学習や交流を目的とした利用者のための場や機会の確保、本市の歴史・文化に触れたい利用者のための場や機会の確保に関する意見も見られました。

表 2-15 中央図書館の良い点・改善が必要な点（第1回）

※下線は複数意見

項目		良い点	改善が必要な点
資料・サービスなど	資料・配架	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>児童書</u>や郷土資料が豊富にある ○ガイドブックや質の良いマンガ、書店にない資料がある ○<u>本が探しやすい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般書や郷土資料, 中高生向け資料, 児童書, マンガ, CD・DVD, 雑誌の<u>量や種類</u>などが少ない, 読みたい本がない ●本が探しづらい ●本が汚れている ●古い資料のデータベース化や紙芝居の保存がされていない
	貸出・予約	<ul style="list-style-type: none"> ○期限延長やカード忘れに柔軟に対応してもらえる ○他館連携による貸出・予約が可能 ○インターネット予約が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●貸出期間が短い, 対象が制限されている ●リクエストへの対応が十分でない ●利用カードの工夫が十分でない
	対象別・サービス・広報	<ul style="list-style-type: none"> ○おはなし会などの児童向けイベントや<u>講演会・読書会</u>がある ○ホームページや図書館だより, 掲示物によるイベント告知や案内がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般向けイベントが少ない ●子どもや中高生に利用されていない ●高齢者・障害者向けのサービスが十分でない ●広報の媒体や方法の工夫が十分でない
	運営	<ul style="list-style-type: none"> ○市立図書館全体の連携が取れている ○<u>職員の対応が良い</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門性の高い司書やロボットなどの配置が必要 ●開館時間の延長や開館日の拡大の検討が必要 ●市民の持つノウハウや知識が活用されていない
施設・設備など	児童開架室・一般開架室	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>読書しやすい環境</u>がある ○<u>一般開架室と児童開架室が分かれている</u> ○清潔 ○児童室の書架が工夫されている ○おはなしの部屋や授乳室などの設備が整っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●書架が高く, 間隔も狭い ●閲覧スペースが狭い, 席数が少ない ●子どもや親子連れが利用しづらい ●おはなしの部屋の工夫が十分でない ●一般開架室と児童開架室との行き来がしづらい ●児童用トイレと授乳室が離れていて使いづらい
	その他スペース・設備	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>自動ドア</u>が設置された ○2階に学習スペースがある ○Wi-Fi が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞コーナーや郷土資料コーナーが使いづらい ●学習席が少ない, グループ学習ができない ●CD・DVDの視聴スペースがない ●視聴覚室に入りづらい ●飲食・休憩・交流が可能な場が少なく, 利用しづらい ●トイレが少なく狭い, 障害者用はドアがない ●ユニバーサルデザイン・バリアフリー化が十分でない ●コピー機や拡大読書器・検索性PC, 図書用カートなどが十分でない ●PCを配置する方向が良くない
	外部・立地など	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>玄関前の桜の木が良い</u> ○<u>駐車場が近い, 広く利用しやすい</u> ○<u>勝田駅に近く便利</u> ○学校に近い 	<ul style="list-style-type: none"> ●外観が整備されていない ●駐車場を無料で利用可能な時間が短い
	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>雰囲気が暗く入りづらい</u> ●<u>全体的に狭い</u> ●<u>防犯上不安がある</u> ●特徴・個性がない ●植物が少ない

表 2-16 図書館でこんなことができたらいいな (第2回)

できるいいこと・必要なもの(スペースなど) ※下線は複数意見	
利用者全般	子ども・親子連れ
<p>資料の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広くくつろげる閲覧スペース, CD・DVDの視聴スペース, 女性専用のスペース, BGMの流れるスペース ・ <u>新刊情報・利用ガイド・貸出履歴</u>などが閲覧可能なホームページ・SNS・館内検索用端末 ・ 充実した雑誌・マンガ・CD・DVD, 電子書籍などの資料 ・ 本の購入・寄贈の機会・場 ・ 十分な貸出冊数, 身近で豊富なサービスポイント ・ 新刊本・おすすめ本・映画原作本・国営公園関連資料などの特設コーナー, 利用者作成のPOP ・ 十分な数の椅子, 縦置きの新聞閲覧台 ・ IC利用カード, 専用バッグ <p>課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機能の豊富な検索用端末, <u>無料 Wi-Fi</u> などのインターネット利用環境 ・ 調べもの支援, 他機関と連携した取り組み <p>行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS・掲示板上のイベント情報 ・ 定期的な読書会, 講座, 芸術鑑賞の機会 <p>滞在・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見晴らしが良く, <u>飲食・休憩・ごろ寝・グループ学習・展示</u>などに利用可能なスペース, 気軽な利用の可能な仕切られたスペース ・ <u>カフェ・コンビニ・レストラン</u>などの店舗 <p>その他必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クールシェア・熱中症予防・傘やタオルの貸出など天気や気温に対応したサービス ・ 所蔵資料以外にも利用可能なコピー機 ・ ATM・宿泊施設などの利便機能 ・ 適切な規模・安全性・明るく立ち寄りやすいデザイン・地元産木材の使用などの要件を備えた建物 ・ 利用しやすい立地・公共交通網 	<p>資料の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワクワクする児童書, 保護者になじみの深い絵本 ・ 乳幼児連れで館内全体を気兼ねなく利用することが可能な時間帯の設定 ・ わかりやすく見通しの良い書架配置, 親子ともに資料を選びやすい配架 ・ ぬいぐるみ, 昼寝用の毛布 ・ 子ども用の椅子・机, 大人用の椅子 ・ <u>声を出したり, 遊んだり, 靴を脱いだりすることが可能なスペース</u> <p>行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頻繁かつ継続的なおはなし会, 声優や俳優の卵によるイベント ・ 人形劇・工作会などが開催可能なスペース <p>滞在・交流・相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おはなし会後の交流・育児相談の時間 ・ 託児スペース ・ 子どもトイレ, 授乳室(おむつ替え含む), ベビーカー置き場 ・ ボードゲーム <p>その他必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入りやすい雰囲気, 清潔感
	中高生・学生
	<p>資料の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生向けの小説, マンガ, 職業・仕事に関する本, 専門書などの資料 ・ 戦争・職員のおすすめ本などの特設コーナー ・ 学校図書館などの身近なサービスポイント <p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人用学習席, <u>グループ学習室</u>, タブレット等が利用可能な調べものスペース ・ 司書による<u>学習支援</u>・調べもの支援 ・ 学校図書館と連携した取り組み ・ 調べ学習用の魚の飼育などの取り組み ・ ビブリオバトル, 職業講演会 <p>その他必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根付きの駐輪場

できるといいこと・必要なもの(スペースなど) ※下線は複数意見	
高齢者	働いている人
<u>資料の閲覧</u> <ul style="list-style-type: none"> ・老眼鏡 ・本の寄贈などの終活相談 <u>居場所づくり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ, 高齢者向けおはなし会 ・読書以外にも利用可能なスペース ・健康器具(ランニングマシン・血圧計など) 	<u>時間外利用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間外も利用可能な予約資料の受取ボックス・返却ポスト・飲食スペース ・利便性の高いホームページ
利用が困難な人(高齢者・障害者・親子連れ)	学びたい人
<u>資料の閲覧</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン絵本, 白黒反転本 ・利用条件の緩やかな障害者サービス, 病院・自宅などでの予約資料受取システム, 病院内図書館, 移動図書館 ・低書架の配置, 利用しやすい書架配置, 手すりや休憩用の椅子, 図書カートなどを備えた閲覧スペース <u>快適な利用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・各障害に応じて利用可能な設備・スペース ・エレベーターやエスカレーター, 勾配の緩やかな階段などの移動手段 ・誰もが使いやすいトイレ・駐車場 <u>その他必要なもの</u> <ul style="list-style-type: none"> ・軽食の販売など障害者が参加可能な場 	<u>課題解決</u> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談可能な司書, 相談専用カウンター ・文書作成等が可能なPC, 無料 Wi-Fi などのインターネット利用環境 ・グループ学習にも利用可能な充実した学習スペース <u>郷土・地域に関する学習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した郷土資料コーナー, デジタルアーカイブ ・戦争・特産物・ゆかりの人物など郷土に関する展示 ・市民の語り部による講演会, 語り部育成講座, 埋蔵文化財調査センターなどと連携したイベント <u>趣味・関心事に関する学習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した各分野の専門書・雑誌などの資料 ・朗読の勉強会・発表会が開催可能なスペース
外国人	利用者同士
<u>母国語での利用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語にも対応可能な職員・機械・ロボット ・英語資料 ・英語による館内サイン 	<u>滞在・交流</u> <ul style="list-style-type: none"> ・大人向けの朗読会・映画会, 読書クラブ ・飲食・休憩・行事開催などが可能なフリースペース ・利用者同士の情報交換が可能なコミュニティボード ・ケータリングカー, 障害者が運営するカフェ
市外在住者	ボランティア
<u>ひたちなか市の情報入手</u> <ul style="list-style-type: none"> ・市・茨城県に関する本・地図などの資料 ・市・茨城県内で開催したイベントなどの情報 ・市の特産品(お菓子など)を購入できる場 	<u>事業の企画・運営, サポート</u> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室に近く, 作業・練習・相談をしたり, 活動用品等を保管したりするための専用スペース ・参加者募集の場, 個人ボランティア登録制度 ・読み聞かせ・修理・保育・事業企画への参加機会

3-1 まなび：現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援

(1) 中央館として相応しい質・量の資料の提供

1) 十分な量かつ新鮮で魅力的な資料の提供

① 豊富で幅広い資料の提供

本市の市立図書館の中央館として、人口規模に見合った量の資料を提供するほか、他館との役割分担も踏まえて多様な分野の資料をバランスよく提供します。併せて、開架資料の充実を図り、利用者が直接的かつ自由に閲覧可能な資料を豊富に提供します。



● メニュー例

約 50 万冊の蔵書・約 25 万冊の開架資料の提供
各分野の基本書，入門書から専門書にわたる広範な資料の提供

② 時代やニーズの変化に対応した資料の提供

資料の適切な更新を通じて鮮度の高い資料を提供しつづけるほか、現在利用の多い資料や市民からの要望の多い資料、今後利用拡大を想定する世代や期待する世代が主な対象の資料、様々な形態の資料、ICTの進展に対応した資料を提供します。



● メニュー例

豊富な絵本・児童書・雑誌・新聞の提供／通勤・通学時に利用可能な文庫本の提供
大活字本（通常よりも大きな文字で印刷された本）やさわる絵本（指などで触れることで楽しめる絵本）の提供
CD・DVDなどの音楽・映像資料の提供／外国語資料の提供
オンラインデータベース（インターネットを介して専門的な情報の検索が可能なデータベース）の提供

2) 豊富な資料との多様な接点の提供

① 読書の幅を広げるきっかけの提供

市民が新たな本と出会ったり読書の世界へ足を踏み出したりするきっかけとなる資料や情報を発信するほか、それぞれの年代や分野が必要とされることの多い資料や情報を積極的に発信します。



● メニュー例

時事に関するタイムリーな展示／表紙面を見せた配架
紹介文を添えたポップ（文章やイラストなどを添えたカード）や帯の展示
テーマ別ブックリストの提供／図書館だよりを通じた新着図書のご案内

② 利便性の高い利用条件・方法の設定

今後のさらなる利用の促進や利用者層の拡大に資すると考えられる利用条件や、多様な市民の利用のしやすさに配慮した資料の提供方法についての検討を進めます。



● メニュー例

視聴覚資料の予約の受付
スマートフォンなどと連動した利用者カードによる貸出

(2) すべての利用者にとって快適な読書・学習環境の提供

1) 利用目的に応じた環境の提供

① 個人での利用に適した環境の提供

読書や学習への要求を単独で満たすことを望む利用者に対して、静かな空間でゆっくりと読書に没頭したり、館内の資料を用いて落ち着いて学習をしたり、じっくりと調べものをしたりすることが可能な環境を提供します。



● メニュー例

キャレル席（個人用閲覧席）やソファ席などの多様な閲覧席の提供
参考図書コーナー・インターネットコーナーの提供

② 複数人での利用に適した環境の提供

個人で資料を借りたり閲覧したりするだけでなく、他者と一緒に共通の事柄について学んだり、何らかの課題に取り組んだりすることを望む利用者に対して、友人同士やグループ、団体などで利用可能な環境を提供します。



● メニュー例

グループ学習室・多目的室（視聴覚室）・会議室などの貸室の提供
テーブルや椅子を配置したロビー・飲食スペースの提供

2) 誰もが快適で親しみやすい環境の提供

① ユニバーサルデザインに配慮した環境の提供

障害を抱える方や高齢者、妊娠中や子育て中の方、外国人など様々な利用者の状況に配慮し、安全で利用しやすい環境を提供します。



● メニュー例

スペース全体の見通しに配慮した書架や低層の書架による資料提供
授乳室や子ども用トイレ・多目的トイレの設置
図書用カートや車椅子、ベビーカーの提供
様々な利用者配慮したサインや筆談ボード、コミュニケーション支援ボードを介した案内

② 気軽に立ち寄りやすい環境の提供

利用者にとって親しみやすい雰囲気を出し、気分転換や待ち合わせのための利用などが可能な環境を提供します。



● メニュー例

会話や飲食が可能なスペースの提供／自動販売機などによる飲料や軽食の提供
CD・DVDの視聴環境の提供／吹き抜けや採光などで快適性を高めた空間の提供

(3) ICTの活用による利便性の向上

1) 職員を介さず利用可能な環境の提供

カウンターに並ぶことなく利用者自身が資料を借りたり返したりすることが可能になる「ICタグシステム」を導入するほか、持ち込んだパソコンやタブレット端末などをインターネットに接続することも可能な環境を提供します。



メニュー例

自動貸出機・自動返却機・予約棚などを通じた資料提供（セルフ貸出）
無料 Wi-Fi・電源の提供

2) 必要な情報の入手が可能な環境の提供

ホームページなどを通じて市民の必要とする情報を積極的に発信するほか、館内に電子掲示板を設置するなどして、より幅広い利用者により効果的に情報を発信します。



メニュー例

音声読み上げ機能付きのホームページの展開
ホームページ上での新着図書やブックリスト、おすすめ本情報などの発信
電子掲示板を通じた催事情報・資料情報・館内情報の提供

3-2 みのもり：日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ

(1) 充実したレファレンスサービスの提供

1) 職員による専門的な調査・研究の支援

① 職員による直接的な支援の提供

調査研究などに必要な資料や情報を提供するレファレンスサービスについて、初めての方でも気軽に相談ができ、職員との詳細な対話が可能な環境を整備し、市民生活や仕事、調査研究上での疑問の解決に資する情報を提供します。



メニュー例

レファレンスに精通した職員による専用のカウンターでの相談受付
オンラインデータベース・インターネットなどを含む多様な媒体を活用した情報提供

② 適切な情報へのアクセス手段の提供

レファレンスサービス自体の周知を図るほか、利用者自身で情報を取得したり、調査・研究に関するノウハウを学んだり、情報活用能力を身につけたりすることが可能な環境や機会を提供します。



メニュー例

レファレンス事例データベースなどの作成・公開
オンラインデータベース利用講座や図書館活用講座の開催
インターネットコーナーの提供（再掲）

2) 市民生活に役立つ資料・情報の提供

就職や起業、育児、健康づくり、介護、相続といった市民生活の多様な側面に対応した資料や情報を積極的に提供します。



メニュー例

健康コーナーにおける闘病記や介護記などの資料の提供
関連機関の発行するチラシやパンフレットの提供
関連機関で開催する市民向け講座・イベント情報の提供
資格や自己啓発に関する資料の提供

(2) ライフステージや年代に応じたサービスの展開

1) 生涯にわたる継続した読書・学習の支援

① 子どもの読書・学習習慣の形成の支援

乳児から中高生までの子どもが本と出会い、触れ合い、言葉を学び、感性や想像力を磨くことのできる環境の充実を図るほか、子どもが本や読書に対して関心を持つことを促す機会や、保護者の参考となる情報なども提供します。



メニュー例

乳幼児や中高生それぞれを主な利用対象とするコーナーの提供
布絵本や大型絵本、仕掛け絵本などを含む多様な資料の提供
発達段階に応じたブックリストの提供／おはなし会や工作会の開催
保護者を対象とした絵本の選び方や読み聞かせなどに関する講座の開催

② 大人の日常的な学習の支援

仕事や家事、育児の合間の息抜きやワークライフバランスの調和、自由時間の活用などが可能な機会を提供します。



メニュー例

料理・手芸・園芸など身近な事柄をテーマとした講座・ワークショップの開催

③ 高齢者の生きがいづくりの支援

同世代での仲間づくりや新たな趣味の開拓、心身ともに健康な生活の維持に必要な知識の習得、これまでに蓄積した知識や経験の伝承などに役立つ機会を提供します。



メニュー例

読書会や各種講座の開催／オレンジ・カフェ（認知症カフェ）の開催
ボランティア（サポーター）活動を通じた図書館運営への参画機会の提供

2) 利用が困難な市民の読書・学習の支援

障害を抱える方や外国人を対象としたサービスなどの館内での対応の充実を図るほか、直接来館することが困難な市民を対象とした新たな資料・情報提供方法の検討を進めます。



メニュー例

ボランティア（サポーター）による対面朗読サービスの提供
手話通訳付きの講座などの開催／外国語によるおはなし会の開催
老人福祉施設等への団体貸出の実施／郵便・宅配サービスの提供

3-3 あそび：知的好奇心を刺激し，子どものアソビをマナビに

(1) 関連機関と連携した読書活動の支援

1) 未就学児に向けた連携と支援

① 「ふぁみりこらぼ」など公共施設との連携

子育て支援センター「ふぁみりこ」やヘルス・ケア・センターなどと連携し，乳幼児やその保護者が本や読書の楽しみに触れることのできる機会を提供します。



メニュー例

「ふぁみりこ」利用者への図書館オリエンテーションの実施
妊娠・子育て応援サイトなどを通じたおすすめ本の発信

② 幼稚園・保育所（園）との連携

市内幼稚園や保育所（園）において本や読書に触れることのできる機会の充実を図るほか，未就学児の図書館利用を促進する取り組みを進めます。



メニュー例

幼稚園・保育所（園）におけるおはなし会の開催／館内でのおはなし会への招待
館内における未就学児の作品の展示／大型絵本などの読み聞かせ資料の提供

2) 小中学生に向けた連携と支援

小中学校が必要とする資料を提供するほか，児童・生徒が市立図書館について知る機会を提供したり，子どもの読書活動の推進に関わる人材の育成を支援したりします。



メニュー例

調べ学習・授業支援用の資料の提供
学校支援図書パック（テーマに沿った小中学校への団体貸出用図書を箱詰めしたセット）の提供
図書館訪問・職場体験・インターンシップの受入れ
学童クラブ支援員，学校ボランティアなどを対象とした読み聞かせ講座の開催

(2) 就学期以降の子どもの本や読書との触れ合いの支援

1) 毎日でも利用したくなる環境の提供

① 伸び伸びと本に触れられる環境の提供

子どもたちが周りの大人に気兼ねすることなく、自由に本を開いたり、友人同士でその内容を話し合ったり、自宅にいるかのようにリラックスして読書や学習をしたりすることのできる環境を提供します。



メニュー例

靴を脱いで利用可能なコーナーの提供

静かに本を読んだり勉強をしたりすることが可能な机・椅子を設置した児童開架スペース

② 自由に遊ぶことのできる環境の提供

子どもたちが自由に自然を観察したり、同年代の子どもと一緒に遊んだりすることができ、毎日でも利用したくなる環境を提供します。



メニュー例

水槽や観葉植物などから自然を感じられるロビー・飲食スペースの提供

知育ゲームの館内貸出

2) 様々な気づきを体感できる機会の提供

子どもたちが様々な体験を通じて満足感を得たり、もっと新中央図書館を使ってみたいと感じたりすることで、遊びから自発的な読書や学習へと移行していくことを促す機会を提供します。



メニュー例

科学実験講座や作品制作などの体験型の講座やイベントの開催

本に関するクイズや館内でのウォークラリーなどの参加型イベントの開催

ブックトーク（一定のテーマに沿って複数の本を紹介する活動）やアニメーション（子どもたちに読書の楽しさを伝える参加型の読書指導手法）などを通じたおすすめ本の発信

(3) 中高生の利用や学習の支援

1) 身近で居心地の良い環境の提供

① 同じ時間を共有できる環境の提供

中高生が休日や放課後などに友人と会話をしたり，共同で作業をしたり，共通する趣味を楽しんだりすることのできる環境を提供します。



メニュー例

会話が可能で，複数人での利用が可能なグループ学習室の提供
中高生のニーズに応じたイベントの開催／知育ゲームの館内貸出（再掲）
情報交換などに利用可能な掲示板の設置

② 思い思いに過ごすことのできる環境の提供

中高生が集中して宿題や受験勉強に取り組んだり，お気に入りの資料を楽しんだりすることのできる環境を提供します。



メニュー例

個人学習室の提供
ライトノベル（主に若年層の読者を対象に読みやすい文体やイラストなどを多用した小説），ティーンズ向け雑誌，学習・教養マンガの提供

2) 自主的な活動が可能な環境の提供

中高生が家庭や学校以外の場での経験を積んだり，多世代の市民と交流したり，日頃の学習成果を発表したりすることのできる場や機会を提供します。



メニュー例

ボランティア（サポーター）活動を通じた図書館運営への参画機会の提供（再掲）
学習などの成果の発表・展示が可能なスペースの提供

3-4 未来へ：地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献

(1) ひたちなか市らしい資料・情報の提供

1) 地域の歴史や文化の継承

① 郷土・行政資料の積極的な収集・発信

那珂湊図書館・佐野図書館とも連携しつつ、本市の歴史や民俗、地理、自然、産業、文化、芸術、本市にゆかりのある人物などに関連する資料を網羅的に収集・提供し、展示なども行います。



メニュー例

伝統芸能や水産加工業、ほしいも、ひたちなか地区の歴史や現況などに関する資料、地域の写真、統計、地図の提供
地元企業のパンフレットや社史等を集めたコーナーを通じた情報発信
市民や地元企業などが所有する郷土資料の寄贈の呼びかけ

② 郷土の魅力に触れる機会の提供

様々な分野の経験や知見を有する市民の協力も得ながら、本市の自然や歴史・文化などに直接的に触れたり、気軽に学んだりすることが可能な機会を提供します。



メニュー例

歴史講座の開催／語り部による戦争体験講演会の開催
昔話・民話などのおはなし会の開催／歴史をテーマとした調べ学習の支援

2) 市内外に向けた観光資源の発信

本市の観光スポットや名産品、イベントに関する情報を収集し、市民や訪問地の歴史を学ぼうとする観光者に対して提供します。



メニュー例

地域・観光コーナーを通じた観光やイベント情報の提供／名産品の展示
特産品のほしいもやタコ加工品を活用したレシピの収集・提供
ロック・イン・ジャパン・フェスティバルなどに関する資料の収集・提供

(2) 暮らしやすいまち、豊かな暮らしの実現の支援

1) ビジネス支援や健康づくり支援

① ビジネス・仕事に関する支援

仕事上のキャリアアップや就業，経営，法律などについて，市民が必要な情報を収集することのできる資料や機会を提供します。



メニュー例

起業・経営などに関する講座の開催

② 心身両面の健康づくりに関する支援

医療機関などと連携を図り，健康の維持・向上に必要な事柄や，病気や薬などについて，市民が必要な情報を収集することのできる資料や機会を提供します。



メニュー例

健康講座などの開催／健康測定機器などの設置

2) 子育てや市民活動の支援

① 子育て世代への支援

子育て世代同士で利用しやすい環境を提供するほか，悩みや不安を軽減したり，ネットワークを形成したりすることのできる資料や機会を提供します。



メニュー例

乳幼児連れで利用しやすい時間帯の設定／授乳室やベビーベッドの提供
保護者同士の交流も可能なコーナーの提供／他施設の専門的な育児相談窓口の紹介

② 市民の自立と協働への支援

新たなひたちなか市らしさの創出に資するため，市民の自主的な活動や各種団体の活動に必要な資料などを提供するほか，利用者が市民活動や市民団体などについて学ぶ機会を提供します。



メニュー例

市民団体による活動成果の発表が可能なスペースの提供
市民活動について学ぶことが可能な講座の開催

(3) 市民の居場所づくりと交流・賑わいの創出

1) 市民が集う場や機会の提供

① 利用者間での交流の創出

新たなコミュニティの形成への寄与を目指し、多様な利用者が本を介して世代や分野を超えた交流を楽しむことのできる環境を提供します。



メニュー例

情報交換などに活用可能な掲示板の設置（再掲）
読書会やビブリオバトル（発表者がおすすめ本を紹介し、参加者が投票する知的書評合戦）、おすすめ本の紹介会などの対話型のイベントの開催
幅広い世代が共に楽しめる将棋やボードゲームの提供
映画会など幅広いジャンルの行事の開催

② 地域の賑わいの創出

地域の活性化や交流の創出への寄与を目指し、周辺公共施設や商店街といった多様な主体との連携を深め、相互利用の活発化に繋がるような取り組みを行います。



メニュー例

周辺公共施設などと連携した合同イベントの開催

2) ボランティア活動の場と機会の提供

幅広い世代の市民ボランティア（サポーター）を募集し、活動の場を日常的に提供するほか、活動の継続や発展、参加者間での交流に資する取り組みを行います。



メニュー例

ボランティア（サポーター）の募集／活動のためのボランティア室の提供
読み聞かせや配架、修理、イベント企画など幅広く個人でも参加可能な活動範囲の設定
研修会やスキルアップ講座、交流会の開催

4-1 必要諸室と整備方針

(1) 想定するサービスと必要諸室

「第3章 新中央図書館のサービス計画」を踏まえ、新中央図書館に必要と考えられる諸室を表 4-1 に示します。

表 4-1 想定するサービスと必要諸室

サービス計画			必要諸室
1 まなび： 現在及び将来の市民一人ひとりの読書・学習を支援			
(1) 中央館として相応しい質・量の資料の提供	1) 十分な量かつ新鮮で魅力的な資料の提供	① 豊富で幅広い資料の提供 ② 時代やニーズの変化に対応した資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● ロビー・飲食スペース ● 児童開架スペース・一般開架スペース ● 児童カウンター・サービスカウンター ● 授乳室・子ども用トイレ・多目的トイレ ● 新聞・雑誌コーナー ● インターネット・AVコーナー ● 参考図書コーナー ● 個人学習室・グループ学習室 ● 多目的室（視聴覚室） ● 会議室 ● 閉架書庫
	2) 豊富な資料との多様な接点の提供	① 読書の幅を広げるきっかけの提供 ② 利便性の高い利用条件・方法の設定	
(2) すべての利用者にとって快適な読書・学習環境の提供	1) 利用目的に応じた環境の提供	① 個人での利用に適した環境の提供 ② 複数人での利用に適した環境の提供	
	2) 誰もが快適で親しみやすい環境の提供	① ユニバーサルデザインに配慮した環境の提供 ② 気軽に立ち寄りやすい環境の提供	
(3) ICTの活用による利便性の向上	1) 職員を介さず利用可能な環境の提供		
	2) 必要な情報の入手が可能な環境の提供		
2 みのり： 日々の疑問の解決から生涯を通じた主体的な取り組みへ			
(1) 充実したレファレンスサービスの提供	1) 職員による専門的な調査・研究の支援	① 職員による直接的な支援の提供 ② 適切な情報へのアクセス手段の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童開架スペース・一般開架スペース ※再掲 ● おはなしの部屋 ● レファレンスカウンター ● ティーンズコーナー ● インターネットコーナー ※再掲 ● 対面朗読室 ● 参考図書コーナー ※再掲 ● 健康コーナー ● 多目的室（視聴覚室） ※再掲 ● 会議室 ※再掲 ● ボランティア室
	2) 市民生活に役立つ資料・情報の提供		
(2) ライフステージや年代に応じたサービスの展開	1) 生涯にわたる継続した読書・学習の支援	① 子どもの読書・学習習慣の形成の支援 ② 大人の日常的な学習の支援	
		③ 高齢者の生きがいがづくりの支援	
	2) 利用が困難な市民の読書・学習の支援		
3 あそび： 知的好奇心を刺激し、子どものアソビをマナビに			
(1) 関連機関と連携した読書活動の支援	1) 未就学児に向けた連携と支援	① 「ふぁみりこらぼ」など公共施設との連携 ② 幼稚園・保育所（園）との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● ロビー・飲食スペース ※再掲 ● 情報コーナー ● 児童開架スペース ※再掲 ● 児童カウンター ※再掲 ● おはなしの部屋 ※再掲 ● ティーンズコーナー ※再掲 ● 個人学習室・グループ学習室 ※再掲 ● 多目的室（視聴覚室） ※再掲 ● 会議室 ※再掲 ● ボランティア室 ※再掲
	2) 小中学生に向けた連携と支援		
(2) 就学期以降の子どもの本や読書との触れ合いの支援	1) 毎日でも利用したくなる環境の提供	① 伸び伸びと本に触れられる環境の提供 ② 自由に遊ぶことのできる環境の提供	
	2) 様々な気づきを体感できる機会の提供		
(3) 中高生の利用や学習の支援	1) 身近で居心地の良い環境の提供	① 同じ時間を共有できる環境の提供 ② 思い思いに過ごすことのできる環境の提供	
	2) 自主的な活動が可能な環境の提供		
4 未来へ： 地域の「想い」「夢」を実現するまちづくり・ひとづくりに貢献			
(1) ひたちなか市らしい資料・情報の提供	1) 地域の歴史や文化の継承	① 郷土・行政資料の積極的な収集・発信 ② 郷土の魅力に触れる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● ロビー・飲食スペース・情報コーナー ※再掲 ● 児童開架スペース ※再掲 ● おはなしの部屋 ※再掲 ● 授乳室・子ども用トイレ ※再掲 ● 地域・観光コーナー ● 健康コーナー ※再掲 ● 多目的室（視聴覚室） ※再掲 ● 会議室 ※再掲 ● ボランティア室 ※再掲
	2) 市内外に向けた観光資源の発信		
(2) 暮らしやすいまち、豊かな暮らしの実現の支援	1) ビジネス支援や健康づくり支援	① ビジネス・仕事に関する支援 ② 心身両面の健康づくりに関する支援	
	2) 子育てや市民活動の支援	① 子育て世代への支援 ② 市民の自立と協働への支援	
(3) 市民の居場所づくりと交流・賑わいの創出	1) 市民が集う場や機会の提供	① 利用者間での交流の創出 ② 地域の賑わいの創出	
	2) ボランティア活動の場と機会の提供		

(2) 諸室の整備方針

新中央図書館では、利用者の利便性や快適性、管理運営の効率性などに配慮しつつ、「第1章 1-2(1) 新中央図書館の整備理念とサービス方針」や「第3章 新中央図書館のサービス計画」に示す内容に相応しい施設内容の実現を図ります。

新中央図書館で想定する諸室の機能・用途や配置、仕様などについての基本的考え方を表 4-2 に示します。

表 4-2 諸室の整備方針

区分	部	ゾーン	室名	機能・用途	配置	仕様
			共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ●本市の生涯学習の拠点となる施設としてのシンボル性を持たせる一方で、市民にとっての立ち寄りやすさや利用のしやすさにも配慮します。 ●長く市民に愛され、親しまれる施設とするため、将来的な市民ニーズや情報技術の変化にも対応可能な空間構成とします。 ●利用者同士の会話や飲食の可能な空間や読み聞かせの可能な空間などを設けるほか、館内のどこでも Wi-Fi を利用可能とするなど、一人ひとりの利用者の快適性に配慮します。 ●階層が複数階に分かれることが想定されることから、利用者にとって分かりやすく合理的なフロア構成とします。 ●吹き抜け空間や階段などの配置を通じて一体感を感じられる施設構成とする一方で、多層構造を活かして賑わいの空間と静寂の空間との共存に配慮します。 ●子どもから高齢者、障害を抱える方、外国人などのすべての市民に配慮した施設として、ユニバーサルデザインへの取り組みを重視します。 ●壁や床、書架には木材を多用することでぬくもりを感じられる空間として整備します。 		
利用者	導入		エントランス・交流	<ul style="list-style-type: none"> ●行事関連情報の発信のほか、市民が制作した作品や地元企業の製品模型の展示、利用者同士での会話や交流、飲食、ブックカートや車椅子の配備などのための空間とします。 ●植物、魚、水音などを通じて利用者へ癒しや寛ぎを提供します。 ●飲み物のほか軽食を提供することも検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場からの出入りが容易な位置とします。 ●サービスカウンター及び児童カウンターとの関係や見通しに配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一角にポスター掲示・チラシ設置等のための情報コーナーを設けるほか、電子掲示板や掲示板、自動販売機、施錠可能なロッカーや返却ポストなどを設置します。 ●自然を感じられるような水槽や観葉植物などの設置を検討します。 ●BDS（Book Detection System：図書紛失防止システム）を適切な位置に設置します。
			開架	児童開架スペース	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもや親子が資料を手に取り、本への関心を育んだり、読書や学習をしたりするための空間とします。 ●書架レイアウトの工夫などを通じて、子どもの本や読書に対する関心を引き出すことの可能な空間とします。 ●会話や読み聞かせなどを可能とする一方で、静かに読書を楽しみたい子どものニーズにも配慮します。 ●子どもの視線やベビーカーでの利用などにも配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気軽な利用や快適な利用が可能な位置とします。
	児童カウンター	<ul style="list-style-type: none"> ●主に子どもを対象とした利用案内や利用登録、予約、貸出・返却、レファレンスなどへの対応を想定します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●児童開架ゾーン全体を見渡すことの可能な位置かつ利用者への圧迫感の少ない位置とします。 ●BDS 作動時の対応などのため、サービスカウンターかいずれかをエントランス・交流ゾーンに近接させます。近接させない場合にも関係を考慮した位置とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの利用に配慮した高さとし、職員の児童開架スペースへの円滑な移動が可能な形状とします。 ●付近に自動貸出機や検索用端末、必要に応じてコピー機を設置します。 	
	おはなしの部屋	<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会などの行事の開催のための空間とします。 ●その他の時間帯には親子での読み聞かせや読書での利用を想定します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●絵本書架や紙芝居書架に近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童開架スペースとは遮音性のある間仕切りで仕切れるようにします。 ●床に直接座ることができ、暗転や照度調整も可能な設えとします。 	
	子ども用トイレ・授乳室	<ul style="list-style-type: none"> ●児童開架ゾーンを利用する乳幼児や親子の利用を想定します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児連れの利用のしやすさやプライバシー、安全性に配慮し、絵本書架や紙芝居書架、おはなしの部屋に近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●授乳室にはおむつ替えに利用可能な設備や衛生管理上必要な設備を設置します。 	
	一般開架スペース	<ul style="list-style-type: none"> ●主に中高生以上の利用者が直接資料を手に取り、読書や調べものをするための空間とします。 ●資料の探しやすさに配慮し、滞在型の利用を含む多様な利用形態に対応します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●新聞・雑誌コーナー、参考図書コーナーや地域・観光コーナー、健康コーナーとの調和に配慮し、全体としてまとまった空間とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新刊図書や特集図書、課題解決支援図書などを配置するコーナーを設けます。 ●一般開架スペース全体の見通しの良さと収蔵冊数の両面に配慮し、書架を適切に配置します。 ●利用者と車椅子・ベビーカー・ブックカートなどとのすれ違いが可能な書架間隔とします。 ●キャレル席やテーブル席、ソファ席などを組み合わせて配置し、持ち込みの PC に利用可能な電源も確保します。 	
	サービスカウンター	<ul style="list-style-type: none"> ●利用案内や利用登録、予約、貸出・返却、インターネット・AV コーナーの利用管理、資料複写受付などへの対応を想定します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●一般開架ゾーン全体を見渡すことのできる位置かつ利用者への圧迫感の少ない位置とします。 ●BDS 作動時の対応などのため、児童カウンターかいずれかをエントランス・交流ゾーンに近接させます。近接させない場合にも関係を考慮した位置とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カウンター対応を行う職員の増減にも対応可能かつ一般開架スペースへの円滑な移動が可能な形状とします。 ●付近に自動貸出機や検索用端末、予約棚、コピー機を設置します。 	
	レファレンスカウンター	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者からの調べものの相談やリクエストへの対応を想定します。 		<ul style="list-style-type: none"> ●参考図書コーナーに極力近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●サービスカウンターと連続させる場合には、それぞれの機能の独立性に配慮します。 ●利用者が職員と 1 対 1 で利用可能で、着座での利用や車いすでの利用も可能な設えとします。 	

区分	部	ゾーン	室名	機能・用途	配置	仕様
			新聞・雑誌コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 寛ぎながら新聞や雑誌を閲覧可能な空間とします。 ● 当日の新聞や雑誌の最新号とバックナンバーを配架します。 ● 雑誌コーナーの入り口付近にはファッションや音楽に関する雑誌を配架するなどして気軽な利用を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新聞コーナーの音の問題に配慮し、新聞コーナーと雑誌コーナーとを分散して配置することも検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑誌の表紙を見せた配架が可能な書架や新聞を広げて閲覧可能なテーブルなどを設けます。
			ティーンズコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生向けの資料や居場所を提供する空間とします。 ● 中高生の居心地の良さを考慮し、他コーナーからやや独立した環境とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般・児童開架スペースなどとのつながりや個人・グループ学習室との関係を考慮した位置とします。 ● 他の利用者動線との交錯や、いずれかのカウンターからの見通しに配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数人で利用可能なテーブル席などを設けます。
			インターネット・AVコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット及びデータベースの閲覧や、個人や複数人での館内視聴が可能な空間とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員による座席管理や利用援助を考慮し、サービスカウンターに極力近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● デスクトップ型のPC端末のほか、必要に応じてプリンタなどを設置します。 ● 利用の際の音や光が他利用者へ影響を与えないよう配慮します。
			対面朗読室	<ul style="list-style-type: none"> ● 対面朗読や録音資料の作成などに利用可能な部屋とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスカウンターに極力近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部の状況が確認可能かつ遮音性にも配慮した設えとします。
			参考図書コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 辞書や事典等を閲覧可能な空間とします。 ● 主に調査研究目的の利用を想定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・観光コーナーと隣接させ、インターネット・AVコーナーやサービスカウンターとも極力近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 書架だけでなく閲覧席も適宜配置します。
			地域・観光コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土・行政資料やパンフレットなどを閲覧可能な空間とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の目につきやすく、参考図書コーナーと隣接し、インターネット・AVコーナーとも極力近接した位置とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 閲覧席のほか、パンフレットなどを配架可能な棚や、展示用のスペースなどを設けます。
			健康コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康関連資料を配架するほか、利用者自身による健康状況の把握も可能な空間とします。 ● シニア世代だけでなく子育て世代などを含む多世代の利用を想定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の目につきやすい位置かつ気軽な利用が可能な位置とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 書架のほか、血圧計などの測定機器を設置します。
	集会・学習	個人学習室	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人の研究・学習のための部屋とします。 ● 個人用席の設置を基本とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集約した配置を原則としますが、階層構成等によっては複数配置することも検討します。 ● 一般開架スペースやティーンズコーナーとの関係性に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 静寂性の確保が可能かつ内部の状況が把握可能な設えとします。 	
		グループ学習室	<ul style="list-style-type: none"> ● 友人同士やグループでの所蔵資料を用いた学習に対応した部屋とします。 ● 移動間仕切りなどにより複数室に分けた利用も可能とし、利用のない場合には個人学習室として開放します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集約した配置を原則としますが、階層構成等によっては複数配置することも検討します。 ● 児童開架スペースやティーンズコーナーとの関係性に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内での活動の様子が他の利用者にも目に入るような設えとします。 	
		多目的室(視聴覚室)	<ul style="list-style-type: none"> ● 大人数を対象とした講座やイベント、映画会での利用を想定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般開架スペースとの関係性に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防音に配慮し、音響設備や映像設備を備えるものとします。 	
		会議室(講座・貸出用)	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座やイベントなどで利用可能な部屋とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般開架スペースとの関係性に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ある程度の遮音性を持たせた造りとします。 ● 室内での活動の様子が他の利用者にも目に入るような設えかつ移動間仕切り等により2室の一体利用も可能な設えとします。 	
	管理	事務・管理	事務作業室	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務作業のための空間とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務スペースは、サービスカウンターや閉架書庫などとの動線を考慮した位置とします。 ● 作業用スペースは、事務スペースに隣接し、資料搬入動線にも配慮した位置に設けます。 ● 集約した配置を原則としますが、階層構成等によっては複数配置することも検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要職員数に対応した規模とします。
			会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員による会議の開催を主な用途としますが、ボランティア(サポーター)などによる利用も想定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務作業室やボランティア室に近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少人数から15人程度までの会議に対応可能なテーブルや椅子を備えるものとします。
ボランティア室			<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館の運営を支援するボランティア(サポーター)の活動拠点とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務作業室や会議室に近接させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内での活動の様子が他の利用者にも目に入るような設えとします。 ● ボランティア団体等が利用可能なロッカーや作品収納スペースなどを設けます。 	
更衣室等			<ul style="list-style-type: none"> ● 更衣室や休憩室、倉庫など、運用上必要となる諸室を設けます。 ● 職員の食事などのほか、急病人の一時保護での利用も想定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務作業室に近接させることを基本としますが、階層構成等によっては分散配置も検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 更衣室は男女別の2室とします。 	
車庫			<ul style="list-style-type: none"> ● 公用車両の保管のための空間とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両動線と利用者の歩行動線が交錯しない位置かつ、効率的な業務が可能な位置とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 天候に左右されずに積み込みなどが可能な設えとします。 	
保存		閉架書庫	<ul style="list-style-type: none"> ● 収蔵冊数25万冊程度の閉架書庫を設けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務作業室やサービスカウンターとの動線を考慮した位置とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動もしくは手動の集密書架を採用するものとし、資料の保存に適した空調・照明計画とします。 	

4-2 施設の規模

「4-1（１）想定するサービスと必要諸室」の検討結果などを踏まえて総合的に検討し、一般開架スペースを90冊／㎡，児童開架スペースを110冊／㎡として必要面積を計算した結果、新中央図書館の延床面積は、約5,500㎡を基本とします(表4-3参照)。また、新中央図書館の諸室の相関関係は図4-1のとおりとなります。

表 4-3 必要諸室及び必要面積

区分	部門	ゾーン	室名	摘要	面積(㎡)			
					室	ゾーン	部門	区分
利用者	導入	エントランス・交流	風除室・ロッカー・車椅子・ベビーカースペース		20	170	170	3,625
			ロビー・飲食スペース		150			
			情報コーナー					
			自販機コーナー					
	開架	児童開架	児童開架スペース	約87千冊, 110冊／㎡	790	870		
			児童カウンター		10			
			おはなしの部屋		50			
			子ども用トイレ		5			
			授乳室		15			
		一般開架	一般開架スペース	約163千冊, 90冊／㎡	1,820	2,065	2,935	
			ティーンズコーナー		100			
			地域・観光コーナー		100			
			健康コーナー		30			
			サービスカウンター		30			
			レファレンスカウンター	サービスカウンターに含む	—			
			参考図書コーナー		100			
			新聞・雑誌コーナー		50			
			インターネット・AVコーナー	2.5㎡×10席+収蔵スペース	55			
			対面朗読室		10			
集会・学習	個人学習室	2㎡×100人	200	520	520			
	グループ学習室	2㎡×30人	60					
	多目的室(視聴覚室)	2㎡×100人	200					
	会議室(講座・貸出用)	30㎡×2	60					
管理	事務・管理	事務作業室	5㎡×20+作業スペース	140	200	320		
		通用口						
		会議室	30㎡	30				
		ボランティア室	30㎡	30				
		休憩室		10	120			
		更衣室		40				
		倉庫		40				
		車庫		30				
	保存	閉架書庫		500		500	500	
	共用	階段・廊下・EV・機械室・トイレ(多目的トイレ含む)等	20%					1,111
合計								5,556
								≒ 5,500

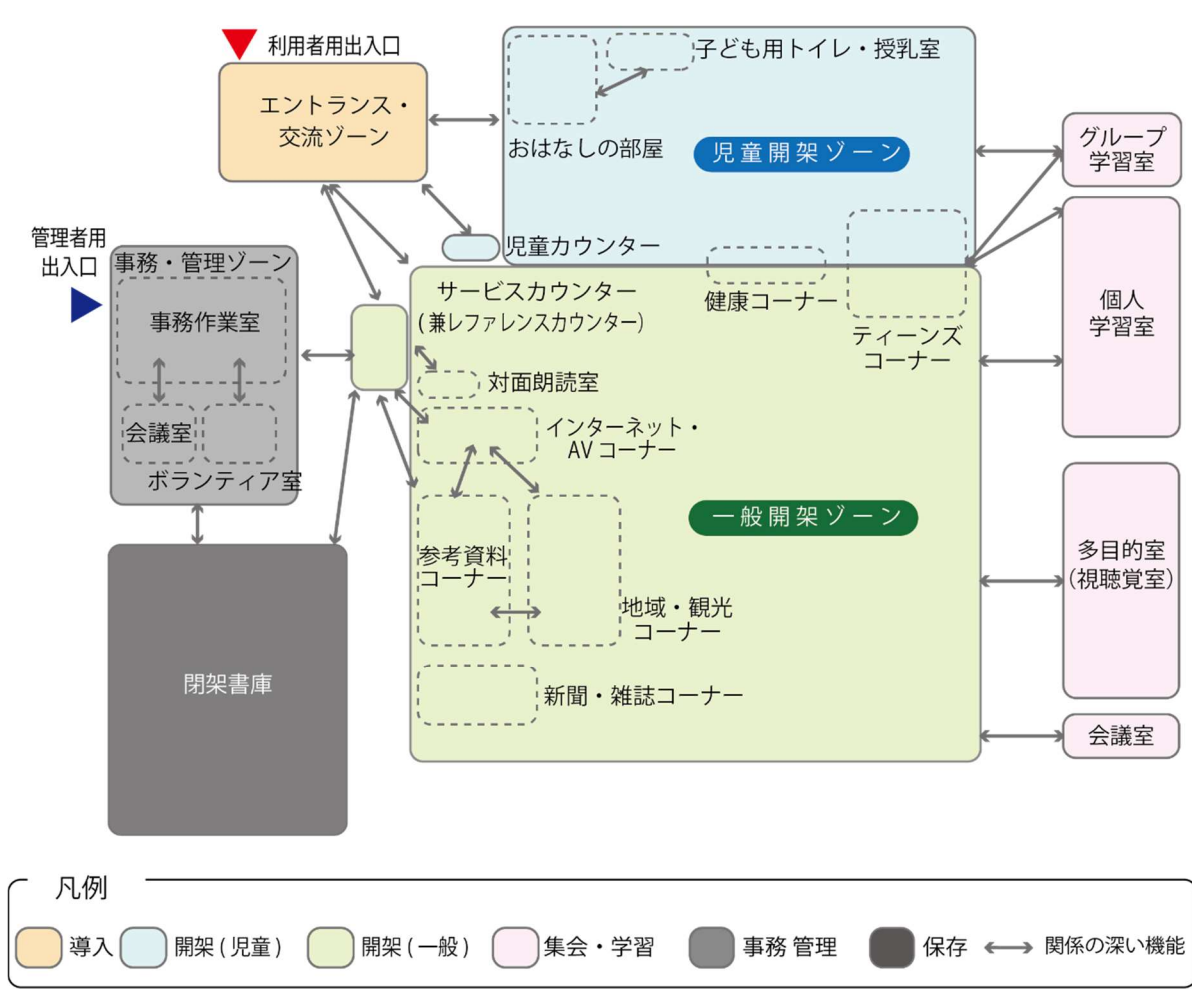


図 4-1 機能相関図

5-1 開館日・開館時間

新中央図書館の開館日・開館時間については、市民アンケート調査結果や他市町村の状況などを踏まえて設定します。「第2章 2-1（1）市民アンケート調査」結果では、いずれも現在のままで良いとする意見が最多となっていますが、開館日の拡大や開館時間帯の延長を望む意見も一定程度あることから、新中央図書館の整備に伴う利用者層の拡大に向け、整備地周辺の状況や他自治体の状況等を踏まえて今後検討していきます。

参考として、本市と公の施設の広域利用に関する協定を締結している市町村の図書館の状況を表 5-1 に示します。

表 5-1 広域利用に関する協定を締結している市町村の図書館の状況（参考）

自治体名	館名	開館時間	休館日
水戸市	水戸市立 中央・見和・常澄・ 内原図書館	9:30～20:00	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 金曜日 ※祝日の場合は開館 ▪ 館内整理日： 第1木曜日 ※11月を除く ▪ 年末年始：12月29日～1月3日 ▪ 図書整理期間：13日以内
	水戸市立 東部・西部図書館		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ※祝日の場合は開館 ▪ 館内整理日： 第1木曜日 ※11月を除く ▪ 年末年始：12月29日～1月3日 ▪ 図書整理期間：13日以内
笠間市	笠間市立 笠間・友部・岩間 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～日 9:00～19:00 ▪ 12月最終の開館日 9:00～17:00 ▪ 1月最初の開館日 10:00～17:00 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ※祝日の場合、次の平日 ▪ 資料整理日：最終木曜日 ▪ 年末年始：12月30日～1月3日 ▪ 特別整理日：隔年1回、7日以内
那珂市	那珂市立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～金 9:30～19:00 ▪ 土・日・祝日 9:30～17:00 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ※祝日の場合、次の開館日 ▪ 最終木曜日 ※12月を除く ▪ 年末年始：12月29日～1月3日 ▪ 蔵書点検期間：10日以内

自治体名	館名	開館時間	休館日
小美玉市	小美玉市小川図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～日 9:30～20:00 ▪ 祝日 9:30～17:00 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ※祝日の場合、次の平日 ▪ 館内整理日：月末日（土曜日・日曜日・月曜日の場合はその前の金曜日） ▪ 年末年始：12月28日～1月4日 ▪ 特別整理期間：年1回15日以内
	小美玉市玉里図書館	9:30～18:00	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日・祝日 ※月曜日の場合は翌日も ▪ 館内整理日：平日の月末日 ▪ 年末年始：12月28日～1月4日 ▪ 特別整理期間：年1回15日以内
茨城町	茨城町立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～金 9:30～18:00 ▪ 土・日 9:30～17:00 ※7月, 8月は9:00～ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日・祝日 ▪ 館内整理日：第3木曜日 ▪ 第4日曜日 ▪ 年末年始 ▪ 特別整理期間：年1回15日以内
大洗町	大洗町中央公民館 図書室	9:30～18:00	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ▪ 生涯学習フェスティバル開催日： 3月第1日曜日 ▪ 年末年始 ▪ 図書整理期間：9月第2週目
城里町	城里町立桂図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～金 10:00～18:00 ▪ 土・日 10:00～17:00 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ▪ 祝日 ※月曜日の場合はその翌日 ▪ 月末図書整理日： 奇数月の平日最終日 ▪ 年末年始 ▪ 特別整理期間
東海村	東海村立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～金 9:30～19:00 ▪ 土・日・祝日 9:30～17:00 ▪ 資料整理日 13:00～19:00 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ▪ 年末年始：12月29日～1月3日 ▪ 資料整理日：第1金曜日 ※午前のみ 4月・3月は1日休館 ▪ 特別整理期間
ひたちなか市	ひたちなか市立 中央・那珂湊・佐野 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 火～金 9:00～19:00 ▪ 土・日・祝日 9:00～17:00 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 月曜日 ※祝日の場合、次の平日 ▪ 図書整理日：第4木曜日 ▪ 5月の国民の祝日 ▪ 年末年始：12月29日～1月3日 ▪ 特別整理期間：年1回10日以内

参考) 各館ホームページ

5-2 管理運営手法

公共図書館の管理運営手法としては、直営方式、一部業務委託方式、指定管理者方式があります(表 5-2 参照)。これまで本市では、他の公共図書館や協力団体との連携が密接であることや、職員の専門性が必要であること、社会教育施設として位置づけられている公共図書館の担う公的役割などの理由により、本市の直営で管理運営を行って来ました。新中央図書館の管理運営手法については、他市町村の事例等を踏まえ、今後十分に検討するの必要はありますが、基本的には直営で行うものとします。

また、他自治体の公共図書館では市民参画に向けた様々な取り組みが進められていることなども踏まえ(表 5-3 参照)、新中央図書館でもボランティア(サポーター)の募集などを通じて、管理運営への市民参画機会の積極的な創出に努めます。

さらに、管理運営の効率化及び利用者の利便性向上の双方の観点から、ICTシステムによる資料管理をはじめ、ICTの活用を進めます。現時点で導入の検討が想定されるICT機器の例を表 5-4 に示します。

表 5-2 各管理運営手法の概要

手法	概要
直営方式	市町村が直接図書館を管理運営。 現在の中央図書館の管理運営手法と同様。
一部業務委託方式	市町村が設定した仕様に基づき民間事業者へ業務を委託。 カウンター業務等の委託が多い。 茨城県内では、土浦市立図書館で採用。
指定管理者方式	平成 15 年の地方自治法の改正により制度化され導入。 施設の管理運営を民間事業者に包括的に代行させることが可能。 茨城県内では、水戸市、潮来市、筑西市、つくばみらい市、龍ヶ崎市などの公共図書館で採用。

表 5-3 他自治体における市民との協働状況（参考）

館名	概要
<p>鯖江市図書館 (鯖江市文化の館内)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>「さばえ図書館友の会」による活動</u> 昭和 63 年 4 月設立，会員数約 230 名で，運営を年額 1,500 円の会費で賄いながら，月 1 回の「友の会たより」の発行，本拭きや配架，ライブラリーカフェやライブラリーカフェコンサートの開催などの活動を展開。 ● <u>女子高生のアイディアによる図書館アプリの開発</u> 個人席の空席状況の確認や蔵書検索，返却ポスト設置場所の地図表示が可能な図書館情報アプリ「S a b o t a (さぼた)」を女子高生のアイディアに基づき開発・公開。
<p>岐阜市立中央図書館 (みんなの森ぎふメディアコスモス内)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>図書館ボランティアによる活動</u> 書架整理や資料修理，環境美化（窓の飾りつけなど），館内案内，読み聞かせ事業などを担当。平成 29 年 4 月時点で 174 名が参加。登録期間は 1 年間で，登録には説明会への参加が必須。 ● <u>青少年サポーターによる活動</u> 6～18 歳の利用者を対象としたサポーター制度。登録期間は 1 年間で，毎週日曜日にホームページなどで公表される活動予定・内容を踏まえて自身で日時を選択して参加可能。主な活動内容は書架の整理やディスプレイ，中高生向けおすすめ本リストの作成など。いずれの活動に参加する場合でも初回は研修が必須。 ● <u>子ども司書による活動</u> 図書館職員の仕事や図書館の仕組み，子ども司書の役割について，4 日間にわたり学ぶ養成講座を受講することで子ども司書として認定。対象は小学 4～中学 3 年生。認定者は FM わっちで月に 1 回放送する「小さな司書のラジオ局」で，本の紹介やイベント取材報告などを担当。 ● <u>ぎふライブラリークラブによる活動</u> 「本・ひと・まち」をつなぎ，広げる活動を企画・運営する市民の自主グループとして，本をコミュニケーションアイテムとして使用する催事を開催。15 歳以上であれば誰でも参加可能で，入会は岐阜市立中央図書館総合カウンターで随時受付。これまでに本の交換会や読書会などを開催。

館名	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>ぎふまちライブラリーの展開</u> 金華地区の伊奈波界限の飲食店や寺などに本棚を置き、市民で共有する仕組みを構築。岐阜市立中央図書館では、まちライブラリアン養成講座を開催。また、館内に「みんなのLibrary～置いてみま書架～」として、おすすめ本を紹介できるコーナーを設置。
瀬戸内市民図書館 もみわ広場	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>図書館友の会「もみわフレンズ」による活動</u> 瀬戸内市立図書館3館を市民の力で育てていくことを目指し、平成29年1月に図書館友の会が発足。開館1周年記念事業でのおはなし会やその他催事の開催を企画。市の自然やゆかりのある人物などを題材とした「ふるさとかるた」を作成し、市内の小中学校へ配布。
伊万里市民図書館	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>図書館友の会「図書館フレンズいまり」による活動</u> 新図書館建設に関する市民運動を進めてきた「図書館づくりをすすめる会」を母体として発足。350名以上（平成29年5月現在）の会員を有し、会費（年額1,000円）など活用し、館内の「フレンズコーナー」を拠点に活動。①フレンズコーナー委員会、②インフォメーション委員会、③美化委員会、④広報委員会、⑤イベント委員会の5つの委員会を組織して活動を展開。
ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>プレイス・サポーターによる活動</u> ボランティアであるプレイス・サポーターが、「プレイス・フェスタ（武蔵野プレイス主催の市民フェスタ）」や「MusicPlace（青少年による音楽発表会）」などの事業運営に協力。プレイス・サポーターは開催事業ごとにホームページを通じて募集。

参考) 各館ホームページ

表 5-4 導入を検討する ICT機器の例

名 称	画 像	概 要
自動貸出機		<ul style="list-style-type: none"> ●利用者自身の貸出により貸出作業を省力化 ●利用者のプライバシーを保護
自動返却機		<ul style="list-style-type: none"> ●利用者自身の返却により返却・仕分け作業を省力化 ●利用者のプライバシーを保護
BDS (Book Detection System : 図書紛失防止システム)		<ul style="list-style-type: none"> ●資料の持出しを管理し、紛失や不明を削減 ●入館者数を把握可能
予約棚		<ul style="list-style-type: none"> ●利用者自身による予約資料の取出・貸出により、貸出作業、資料取置き管理を省力化 ●利用者のプライバシーを保護
オンラインデータベース		<ul style="list-style-type: none"> ●調査に必要な情報をオンラインで総覧・検索可能 ●最新情報の更新・追加が容易
電子掲示板		<ul style="list-style-type: none"> ●施設ガイド, イベント情報, 図書館・地域情報の配信が可能

6-1 想定する整備候補地

「調査報告書」では新中央図書館の整備候補地として、現況敷地，市営元町駐車場敷地，旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地，東石川第四公園グランド敷地の4か所の整備候補地を比較・整理しました。

- 整備候補地 1－A：現況敷地
- 整備候補地 1－B：市営元町駐車場敷地
- 整備候補地 2：旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地
- 整備候補地 3：東石川第四公園グランド敷地

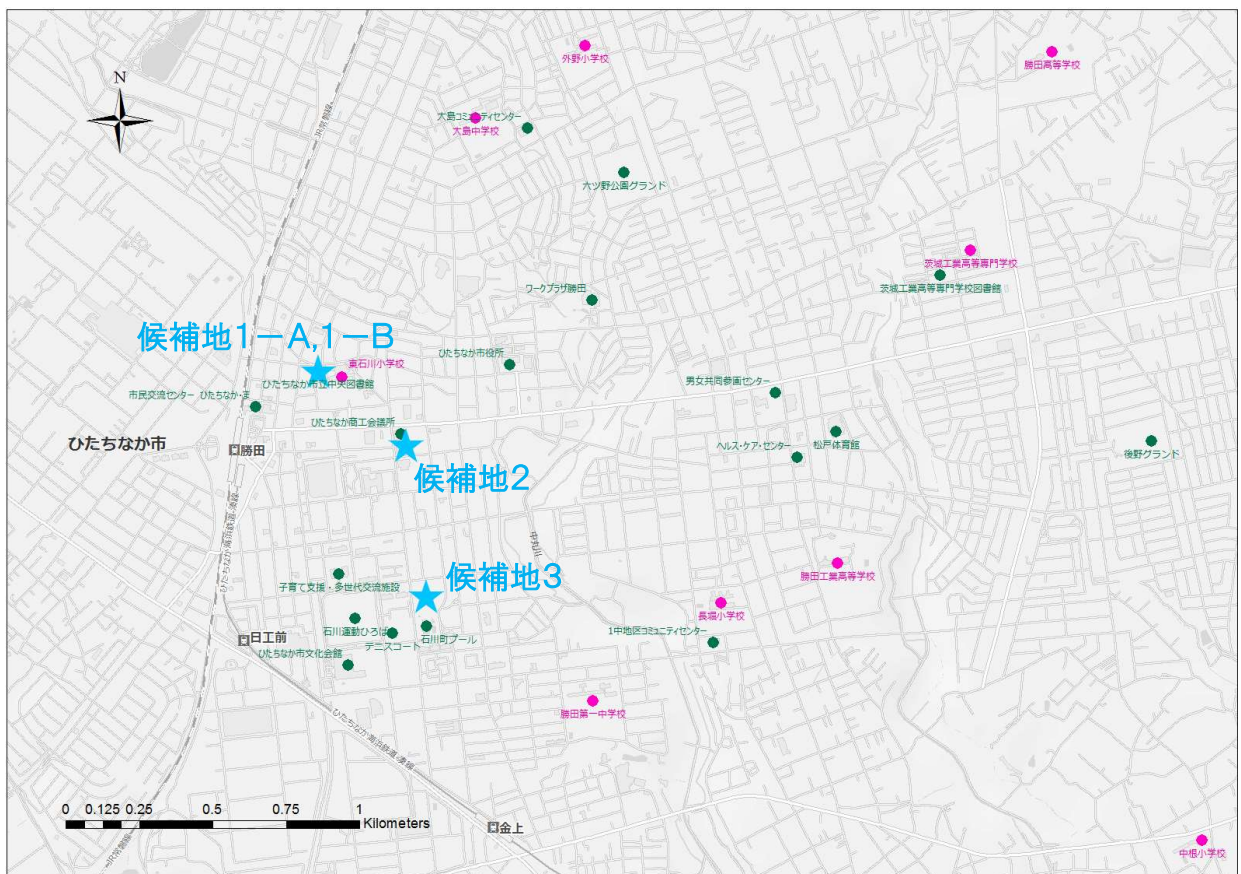

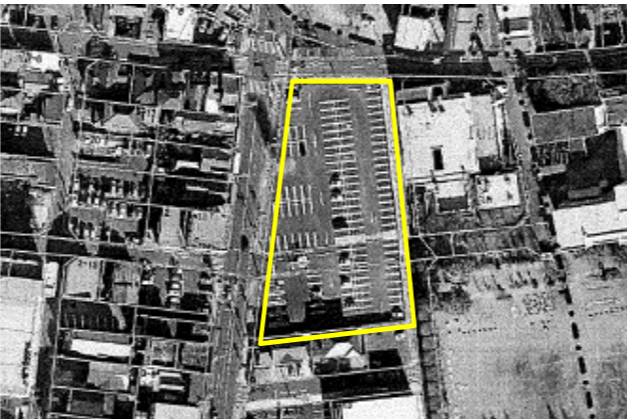
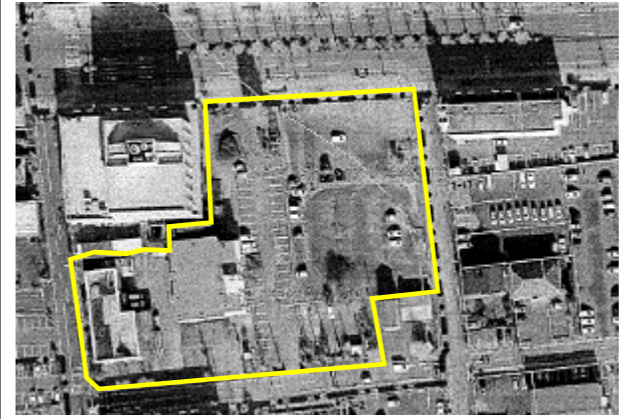



図 6-1 整備候補地

6-2 整備候補地の概要

表 6-1 整備候補地の概要

	候補地 1 - A : 現況敷地	候補地 1 - B : 市営元町駐車場敷地	候補地 2 : 旧青少年センター・旧生涯学習センター 市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3 : 東石川第四公園グランド敷地
(1) 敷地条件				
① 位置	元町 5-3	元町 4-4	勝田中央 14-2,9	石川町 25
② 面積	2,293 m ²	3,530 m ²	7,613 m ²	30,123 m ² (グランド部分は約 10,000 m ²)
③ 敷地・既存 工作物等	 <ul style="list-style-type: none"> ● 中央図書館が立地 ● 隣接して市営元町駐車場 (3,530 m²) が立地 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 市営元町駐車場が立地 ● 隣接して中央図書館 (2,293 m²) が立地 	 <ul style="list-style-type: none"> ● H29 年秋に移転した青少年センター, 生涯学習センターの跡地 ● 市営勝田中央駐車場及び商工会議所用駐車場は, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 野球場 1 面 (内野仕様: 黒土, 外野仕様: 芝), ベンチ, トイレ, 遊具等設備 ● 石川町プール (管理事務所あり)
(2) 地域・地区				
① 用途地域・ 防火指定 (建ぺい率/容積率)	● 第一種住居地域 (60%/200%)	● 商業地域 (80%/400%) ● 準防火地域: 耐火建築物 (1,500 m ² を超える場合)	● 商業地域 (80%/400%) ● 準防火地域: 耐火建築物 (1,500 m ² を超える場合)	● 第二種住居地域 (60%/200%) ● 都市計画公園: 15% (5% + 教養施設特例 10%)
② 地区計画	-	-	-	● 石川・青葉地区計画 建築物等の形態又は意匠の制限, 駐車場等の舗装等

6-3 整備候補地における整備イメージ

「調査報告書」では、各整備候補地における整備イメージの検討にあたっての施設規模は約 5,500 m²とし、表 6-2 の整備内容を前提としました。また、整備候補地にある既存建物はすべて取り壊すことを前提としました。

各整備候補地における指定建ぺい率や斜線制限、容積率、日影規制などを踏まえた整備イメージの検討結果を表 6-3 に示します。また、各整備候補地において新中央図書館や駐車場を整備可能か確認するためのイメージを表 6-4～表 6-8 に示します。

表 6-2 整備内容

整備内容	規模	備考
①新中央図書館	延床面積約 5,500 m ²	<ul style="list-style-type: none"> ● 階数を抑え、整形とする。 ● 書架間隔を考慮した柱スパンとする。
②駐車場	約 110 台	<ul style="list-style-type: none"> ● 平面駐車場を基本とする。 ● 敷地内に近隣施設の既存駐車場がある場合には、近隣施設での必要台数に新中央図書館で必要とする約 110 台を併せた台数を確保する。

表 6-3 整備イメージの検討結果

	候補地 1-A 現況敷地	候補地 1-B 市営元町駐車場敷地	候補地 2 (立体駐車) 旧青少年C・旧生涯学習C 市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 2 (平面駐車) 旧青少年C・旧生涯学習C 市営勝田中央駐車場等敷地	候補地 3 東石川第四公園 グランド敷地
①想定建物					
想定形状 (建築面積)	43.2m×28.8m (1,244.16 m ²)	64.8m×28.8m (1,866.24 m ²)	36.0m×51.0m (1,836.00 m ²)	43.2m×43.2m (1,866.24 m ²)	64.8m×43.2m (2,799.36 m ²)
想定階数	地上3階 地下1階	地上3階	地上3階	地上3階	地上2階
想定 延床面積	4,561.92 m ²	5,495.04 m ²	5,508.00 m ²	5,495.04 m ²	5,495.04 m ²
②駐車場					
駐車台数	110 台	110 台	210 台 (商工会議所分 100 台含む)	110 台	110 台
形状	平面	立体	立体	平面	平面
③計画条件					
特に留意 すべき斜線制限	西側道路斜線	東側道路斜線	東側道路斜線 西側道路斜線	東側道路斜線	—
日影規制	あり	なし	なし	なし	なし

表 6-4 整備イメージ（候補地 1 - A : 現況敷地）

候補地 1-A : 現況敷地				
位置	元町 5-3	敷地面積	2,292.74 m ² + 3,529.85 m ²	
用途地域	第一種住居地域（市宮元町駐車場敷地部分：商業地域）	建ぺい率	60%	容積率 200%
防火指定	なし	高度地区	なし	
日影規制	4m・5h / 3h（建築物の高さ>10m のとき適用）	地区計画	なし	
その他				
建築可能面積	最大建築面積：1,375.64 m ² （敷地面積 2,292.74 m ² 想定） 最大延床面積：4,585.48 m ² （敷地面積 2,292.74 m ² 想定）			
<p>▲：建物利用者出入口 △：管理者出入口 ▲：車両出入口</p>				
面積 駐車台数	駐車場側		図書館側	
	平面駐車：110 台		地下 1 階床面積：1,244.16 m ² 1 階床面積：1,244.16 m ² 2 階床面積：1,244.16 m ² 3 階床面積：829.44 m ² 建築面積：1,244.16 m ² （建ぺい率：54.27%） 延床面積：4,561.92 m ² （容積率：198.97%）	

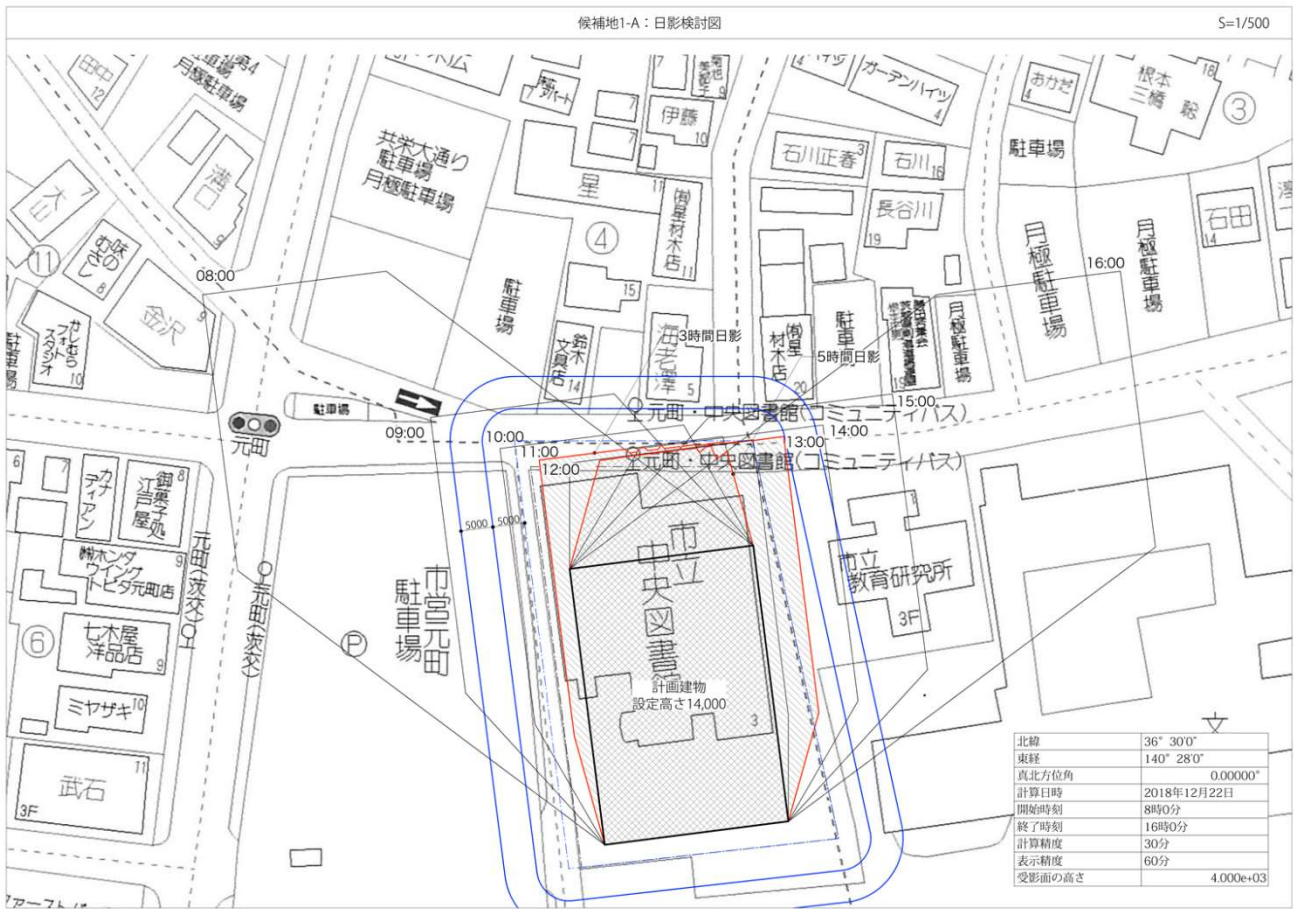


図 6-2 日影図（候補地 1 - A：現況敷地）

表 6-5 整備イメージ (候補地 1-B : 市営元町駐車場敷地)

候補地 1-B : 市営元町駐車場敷地				
位置	元町 4-4	敷地面積	3,529.85 m ² + 2,292.74 m ²	
用途地域	商業地域 (中央図書館敷地部分 : 第一種住居地域)	建ぺい率	80%	容積率 400%
防火指定	準防火地域 (1,500 m ² を超える場合耐火建築物)	高度地区	なし	
日影規制	なし (中央図書館敷地部分 : 4m・5h / 3h (建築物の高さ > 10m のとき適用))	地区計画	なし	
その他				
建築可能面積	最大建築面積 : 2,823.88 m ² (敷地面積 3,529.85 m ² 想定) 最大延床面積 : 14,119.40 m ² (敷地面積 3,529.85 m ² 想定)			
<p>▲ : 建物利用者出入口 △ : 管理者出入口 ▲ : 車両出入口</p>				
面積 駐車台数	図書館側		駐車場側	
	1 階床面積 : 1,866.24 m ² 2 階床面積 : 1,866.24 m ² 3 階床面積 : 1,762.56 m ² 建築面積 : 1,866.24 m ² (建ぺい率 : 52.87%) 延床面積 : 5,495.04 m ² (容積率 : 155.67%)		1 階床面積 : 1,367.65 m ² (28 台) 2 階床面積 : 1,367.65 m ² (28 台) 3 階床面積 : 1,367.65 m ² (28 台) 屋上 : (26 台) 建築面積 : 1,367.65 m ² (建ぺい率 : 59.65%) 延床面積 : 4,102.95 m ² (容積率 : 178.95%) 立体駐車 : 110 台	

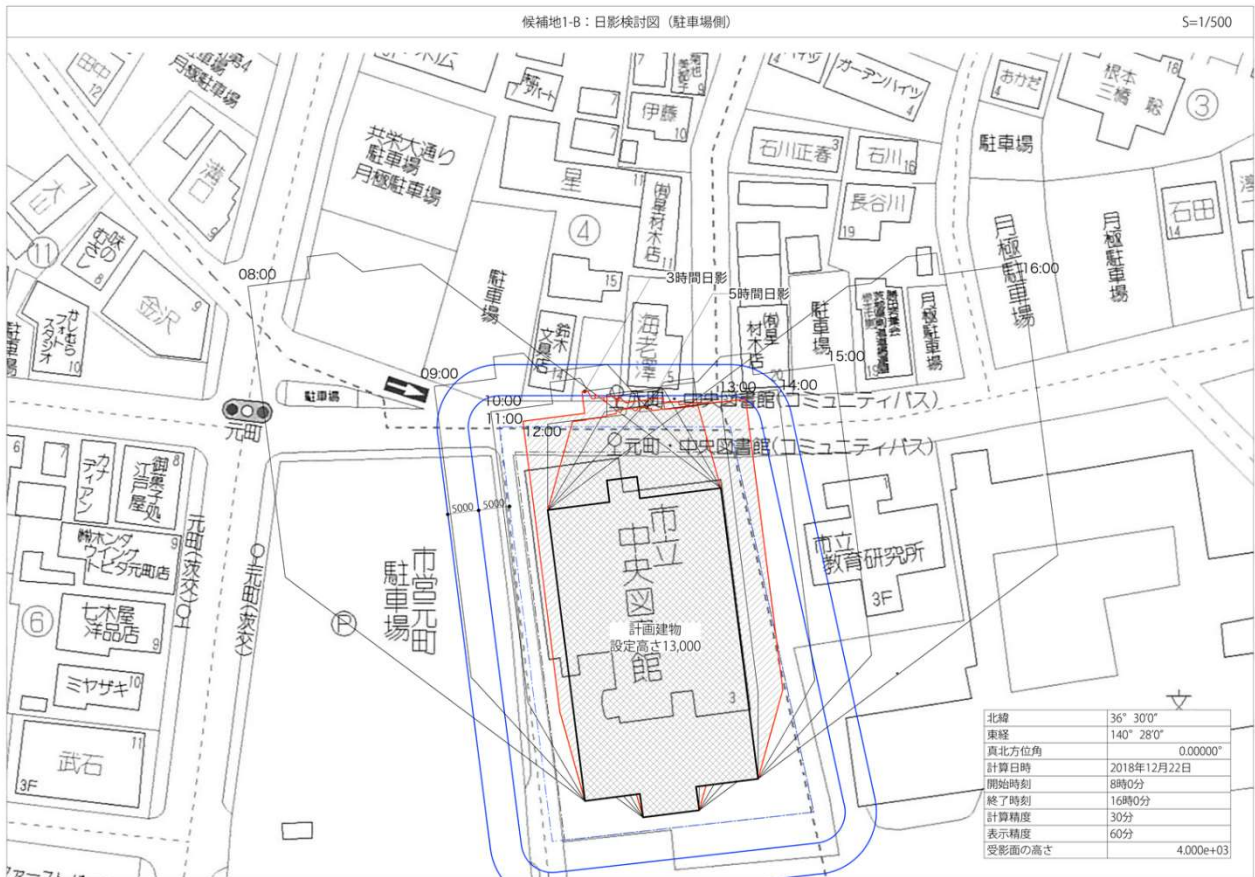


図 6-3 日影図（候補地 1 - B：市営元町駐車場敷地：立体駐車場部分）

表 6-6 整備イメージ (候補地 2 (立体駐車) : 旧青少年 C・旧生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地)

候補地 2 (立体駐車) : 旧青少年 C・旧生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地					
位置	勝田中央 14-2,9	敷地面積	7,613.10 m ²		
用途地域	商業地域	建ぺい率	80%	容積率	400%
防火指定	準防火地域(1,500 m ² を超える場合耐火建築物)	高度地区	なし		
日影規制	なし	地区計画	なし		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年秋に移転した青少年センター, 生涯学習センターの跡地 ・ 市営勝田中央駐車場 (37 台) は, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 ・ 商工会議所用駐車場 (67 台) もあり, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 				
建築可能面積	最大建築面積 : 6,090.48 m ² 最大延床面積 : 30,452.40 m ²				
▲ : 建物利用者出入口 △ : 管理者出入口 ▲ : 車両出入口					
面積 駐車台数	図書館側		駐車場側		
	1 階床面積 : 1,836.00 m ² 2 階床面積 : 1,836.00 m ² 3 階床面積 : 1,836.00 m ²		1 階床面積 : 2,277.65 m ² (54 台) 2 階床面積 : 2,277.65 m ² (54 台) 3 階床面積 : 2,277.65 m ² (54 台) 屋上 : (48 台) 立体駐車 : 210 台		
建築面積 : 1,836.00 m ² (図) + 2,277.65 m ² (立駐) = 4,113.65 m ² (建ぺい率 : 54.03%) 延床面積 : 5,508.00 m ² (図) + 6,832.95 m ² (立駐) = 12,340.95 m ² (容積率 : 162.10%)					

表 6-7 整備イメージ (候補地 2 (平面駐車) : 旧青少年 C・旧生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地)

候補地 2 (平面駐車) : 旧青少年 C・旧生涯学習 C・市営勝田中央駐車場等敷地				
位置	勝田中央 14-2,9	敷地面積	7,613.10 m ²	
用途地域	商業地域	建ぺい率	80%	容積率 400%
防火指定	準防火地域(1,500 m ² を超える場合耐火建築物)	高度地区	なし	
日影規制	なし	地区計画	なし	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年秋に移転した青少年センター, 生涯学習センターの跡地 ・ 市営勝田中央駐車場 (37 台) は, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 ・ 商工会議所用駐車場 (67 台) もあり, 通常の駐車場利用の他, ひたちなか祭り本部としても利用 			
建築可能面積	最大建築面積 : 6,090.48 m ² 最大延床面積 : 30,452.40 m ²			
▲ : 建物利用者出入口 △ : 管理者出入口 ▲ : 車両出入口				
面積 駐車台数	1 階床面積 : 1,866.24 m ² 2 階床面積 : 1,866.24 m ² 3 階床面積 : 1,762.56 m ² 建築面積 : 1,866.24 m ² (建ぺい率 : 24.51%) 延床面積 : 5,495.04 m ² (容積率 : 72.18%) 平面駐車 : 110 台			

表 6-8 整備イメージ (候補地 3 : 東石川第四公園グランド敷地)

候補地 3 : 東石川第四公園グランド敷地					
位置	石川町 25	敷地面積	30,123.00 m ² (グランド部分は約 10,000 m ²)		
用途地域	第二種住居地域	建ぺい率	60%	容積率	200%
防火指定	なし	高度地区	なし		
日影規制	4m・5h / 3h (建築物の高さ>10m のとき適用)	地区計画	石川・青葉地区計画		
その他	・都市計画公園 : 建ぺい率 15% (5%+教養施設特例 10%)				
建築可能面積	最大建築面積 : 4,518.45 m ² (建ぺい率 15%とした場合) ※既存建築物を含む				
<p>▲ : 建物利用者出入口 △ : 管理者出入口 ▲ : 車両出入口</p>					
面積 駐車台数	1 階床面積 : 2,799.36 m ² 2 階床面積 : 2,695.68 m ² 建築面積 : 2,799.36 m ² (建ぺい率 : 9.29%) ※石川町プール部分建築面積 (約 973 m ²) は除く 延床面積 : 5,495.04 m ² (容積率 : 18.24%) 平面駐車 : 110 台				

6-4 整備候補地の比較検討状況

(1) 整備候補地の調査結果

「6-3 整備候補地における整備イメージ」を踏まえた各整備候補地についての調査結果は以下のとおりとなりました。

候補地1-A(現況敷地)は、建築可能な建物が地上3階地下1階、延床面積4,561.92㎡となり、約5,500㎡の施設規模を整備できないことがわかりました。駐車場は、平面駐車場で110台分を整備できます。

候補地1-B(市営元町駐車場敷地)は、地上3階の建物で想定する施設規模を整備できます。駐車場は、110台分を整備するには現中央図書館敷地に3階建ての立体駐車場が必要となります。

候補地2(旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地)は、地上3階の建物で想定する施設規模を整備できます。駐車場は、110台に現市営勝田中央駐車場と商工会議所用駐車場分を加えた210台分を整備すると、3階建ての立体駐車場が必要となります。なお、敷地内に平面駐車場を整備する場合、駐車台数は110台になります。

候補地3(東石川第四公園グランド敷地)は、地上2階の建物で想定する施設規模を整備できます。駐車場は、平面駐車場で110台分を整備できます。

(2) 比較検討のまとめ

各候補地の敷地の広さや余裕度、アクセス性や利便性、都市機能等の集積度等を比較検討しました。その結果は以下のとおりです。

候補地1-A(現況敷地)は、勝田駅に近く駅からのアクセス性は良いものの、敷地面積が狭く目標とする施設規模を整備できないことがわかっています。また、現中央図書館を取り壊してから新中央図書館の建設に着手することとなるため、現有図書等の移動や保管場所の確保が必要になること、休館の期間が長期にわたることが想定されます。さらに、図書館利用者の増加が見込まれるため、市営元町駐車場が駅前の主要道路に面していることから、交通渋滞や安全性の面が懸念されることなどの課題があります。

候補地1-B(市営元町駐車場敷地)も、勝田駅に近く、駅前の主要道路に面したわかりやすい場所となりますが、現中央図書館の場所に立体駐車場の整備が必要になること、駐車場の出入口に面した道路が狭く交通渋滞や安全性の面が懸念されること、新中央図書館建設中に現中央図書館利用者のための駐車場を確保する必要があることなどの課題があります。

候補地2（旧青少年センター・旧生涯学習センター・市営勝田中央駐車場等敷地）は、勝田駅からの距離が現中央図書館と大きく変わらないアクセス性の良い場所で、昭和通りに面した分かりやすい場所への立地となります。また、現中央図書館を開館しながら整備できるため、建替えのために長期に休館する必要がないほか、隣接する商工会議所や近接するひたちなか総合病院と連携したサービスを提供することなども想定できます。課題としては、商工会議所利用者などの駐車場を確保するには立体駐車場の整備が必要となることや、立体駐車場を整備した場合、ひたちなか祭りの本部運営などイベントでの活用が困難になることや景観上の問題などが挙げられます。

候補地3（東石川第四公園グラウンド敷地）は、敷地面積が広く、低層の建物で目標とする施設規模を整備することが可能であり、駐車場も平面駐車場で必要台数を確保することができます。また、現中央図書館を開館しながら整備できるため、建替えのために長期に休館する必要がないほか、緑に囲まれた静かな環境の中での立地となり、第四公園のベンチや遊具等を活用した利用や、近接する子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」と連携したサービスを提供することも可能となります。課題としては、野球やグラウンド・ゴルフ等の利用者に影響が生じることや、勝田駅から少し離れた場所となり幹線道路にも面していないため、分かりにくい場所への立地となることなどが挙げられます。

整備地については、魅力的な図書館の建設にきわめて重要な要素であることから、敷地の広さや余裕度、アクセス性や利便性、都市機能等の集積度に加え、中心市街地における回遊性や賑わいの創出、整備に係るコストなど、まちづくりの観点から引き続き総合的に選定を進めていくものとします。複合施設の可能性も視野に入れながら、上記候補地以外にも新中央図書館の整備地としてふさわしい敷地があれば加えて検討するなど、あらゆる可能性を踏まえた検討を引き続き行ってまいります。

